世界に三つある、

3

0

イッの失業問題を解決する上に役れども戦後のドイツには戦前以上れども戦後のドイツには戦前以上

十一萬四千人にポーラン

は五萬五千から三萬入手

戦って

5000,000

失ったにも被らず

・失難地態の中心は

は凡そ一千二百萬 人の失穀者がある 人の失穀者がある

年)において四萬七千人。

のは英と獨

七年(昭和二年)には二萬四千人といふ失斃者を織した經緻があるにはあまりに早いけれども更に角今日このなやましい失ども更に角今日このなやましい失い。

6.700 000

の労働力で最大限の生産をすが居る、ドイツの合理化は最

ドイツには三百萬に近い失業

一九二七年(昭和二年) リカで霸しい移民設が山栗 リカで霸しい移民設が山栗

田島兵學校

聯盟の組織に 勞農內部 着手 から

ケ・ペ・ウが嚴重に行動を監視 ける由来中に相當伸びてゐる

日本ご命中の 自来調人に使つて世界の 白 来露人を網雑した反 ソウェート職盟が極松 (に 組織されつ) あるとの機器に日本管師を開始し、 一郎の (まま特電ニ十一日) 思想問題を中心として日露の関策はますし、 一郎の () の (してゐるか の計覧を触に破し十日夜東京競北平に亡命してゐるホルワット特別を飛ばし反ソウェートの世界的十鵬鹽・配照組織に活動してゐるもので、一方テェ概を飛ばし反ソウェートの世界的十鵬鹽・配照組織に活動してゐるもので、一方テェ したなど緊張ぶりを昆しゲ・ベ・ツは監視と偵察に全時務機関を順員し開釈課 白米電人の一大順結を 民協會を併合して亡命職人協會と命令した、忠
職るべく去る十三日秘かに東京新宿の某所に會 密職後直ちに世界の同 合して密酸を選げ一 軍の許に密

世界全山

うとさへ言はれてゐる。今になつ ろい解給 (三) 閣僚なる消費── 腰のところ四百萬を組過するだら て見れば (二) 間骸なき生蔵(二)

アメリカの練売も行き出

語つて来

出すべき農民を持たな

ふ新しい

い消費者を遊んで行く、一萬人一

り心にを告げたりする、日本はど 関によって人口の消費に苦んだ 関によって人口の消費に苦んだ

一億二千萬人――年々

敗され

會では新會則に依り來る九月改選「東京廿一日發電通」實施院研究 研究會の 常務委員

北戦河に 飛行をしめたが 北戦河に 飛行をしめたが 銀氏等は模型良氏に証認してその 銀氏医り観省政府主

鬼も角も友好關係になる解意されてゐるがこれが爲め 變化を生 ずるである

を 事件 と

子"立化输忠子、小松謙次郎· 「香田子」、小松謙次郎・ 「香本信光」 さるべき緊務委員の生動退任者を 対定のため二十日午後四時から臨 のでは、 を決定し全會員に推鵬狀を強盗の職員會を開き後任の新常務候補者 を協議党會に報告來る二十九日使つて常務委員會は直ちにこの 管に報告來る二十九日協 概委員會は直ちにこの旨 月中に大綱決定し爾來電制調査会 はこれに基金 東兵力量並に縄成装開改い 本部と陸軍省で研究中の不

關內奉軍買收費 南京代表から手交 張學良氏感情を害せるに乗じ される模様である

と限られ今後の変紋の郷がりと取られ今後の変紋の郷がりこの事件は慰結の業局を誇る 介に り する 夏 石 表 が もの 北

では、アイリッピン特電二十一日を当此謎であり、この際否あり、この際否あり、この際否人は日本、実施、関係であり、この際否人は日本、東京では、関係を関係を関係を表するものだと放送し、支那共産の高級を表するものだと放送し、支那共産の高級の書長は、現在世界は經濟難を紹叫してる。表するものだと放送し、支那共産・国際であり、この際否人は日本、東に祝電を發した。最終を表するものだと放送し、支那共産・国際であり、この際否人は日本、東に祝電を發した。 新艦艇建造費を

として安心が出来ぬる

はるびん丸船客「門

觀

米下院握潰さん

「東京十一日發電通】二十日の民 大演説動は時間柄大部況を呈し午 大演説動は時間柄大部況を呈し午 演説會場で 検束騒ぎ

與黨遊說 0

ら遊説の第一眼を揚げり

何の故かり

白國社會黨首 本月下旬來滿

算委員會海軍分科委員長アレンテー 擬新浩費支出案を握りつぶすべ 佐)平井勇(近衛師團經避部附と要選職に依ればアメリカ下院職 来るべきアメリカ議會は各種艦 ▲網内一雄(第九師團参謀ル兵少人東京特堂二十一日後)ワシント 氏は去る十八日 政策轉換に 委員長フ氏の聲明 田中省三、大内成美、粉部辰雄一部事務請山正男、組谷貞次郎、一部事務請山正男、組谷貞次郎、一部事務議山正男、組谷貞次郎、一部の知し

及ばず

「本天特閣二十一日和」ベルギー 社会無首領、前首相ワンデルブル ト氏は日本訪問の馬め本月二十一 素天に一部の上北平に赴き然る後 ですする憲定である 十一日晚、南四面 2000 1 時時 各地の温度

財界は漸く常態に復す

局の打開が綴ましいのであるの政帯艦も在野驚も共に政験の立時となって時

四〇一五四時 二二二二二昨 六九八九九 五三六三五高 まづ東京か 第一を引下が便道など、 第二級などのは、 第二級などのでは、 第二級などのは、 第二級などのはなるなどのは、 第二級などのは、 第二級などのは、 第二級などのは、 第二級などのは、 第二級などのは、 第二級などのは、 第二級などのは、 第二級などのは、 第 効能で賣れる アド 高達表 吸着療法劑





日階旅客機にて東京よ

開業 本 拶の貸め廿一日 氏(元 鞍山屋美醫院主)

日本コロムビア蓄音器株式会社 詳細は何卒月報を御覧下さい

、整篤 候た、協力 月から具體案作成 編成裝備 原子・裏松友*子、東原原子・裏松友*子、東原原銀次郎(以上物選よる際の銀次郎(以上物選よる際の場合のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、

奉天兵工廠が 約一千名を淘汰 不穩行動を慮り警戒 してゐる

勞働者の自覺を

一役會議はけふ了る

被の騎士―第二幕終結ルト・シトラウス作 丁共元

二重唱[アニ

古氏(元鞍山屋美醫院主長) 片倉夷(陽東軍都理部附、三 長、二等主計正)轄成任長、二等主計正)轄成任 長、二等主計正)轄成任 長、二等主計正)轄成任

促す絕好の機會

モスクワ國際勞働會議で

會議秘書長が演説

節約額決定

鸣曲

ピアノ獨奏

ピーア ノ サンフォド・シュルッセヴァイオリン ジョルジュ・エネス

歐米の權威續々來朝

己二 ワルツーペン作り至六

交 費 1

A JAH 般失 大 一 「 ト 指揮

序 樂曲 フィンデルスゾーン作 リイ・J・ウ・ク・ンズ・リイ・リーン作 丁共鼠一次 工並樂四重奏 J 尖克—三

激増する日本の

組曲第三番 洋樂九月新譜第一部 作 傑作樂第九五編 デジレ る芸で文

依れば湖南より撤退せる共産第五

常局者も懇談論に随き職との説を提来より固執しておるものと それがために莫大な同様を収映してあるものと それがために莫大な同様を収映してあるものと それがために莫大な同様を収明されてある。ワシント は議會で承認すべきでは

してゐる

共匪進撃

程度まで映搬を建造せぬであられたドン統約によって割営てられた

容易には可決しないであらうと罹機的の態態に必要な支出をすら

激してある、一気長フレンテ氏の

九江危し

四重奏曲 ブラッセル王 介音祭院養乾縄不開

大連市内

展政署長貧民窟を檢分

問題であらう

官兵ご交戦

機本的、井上博外一名の七名が快

が、目下上海で送信中の佐々木、 製員が総行すること」なった、 とこれなった、 とこれなった、 とこれなった。 とこれなった。 とこれなった。 とこれなった。 とこれなった。 とこれなった。 とこれなった。

本木、場げた

の多選保號、薄守水氏の香賓號・で執行すると

愛讀者へ奉仕の

のまして下さ

頗る物騒

バルチザン

~來る十月一日から施行

連をまつ

一面委員を設置

表行機タコマ郷を置ケ浦に空籠したプロムレー中時、ゲッテイ機関 たプロムレー中時、ゲッテイ機関 に登出機能整備に當つてあるが、二十三 は試験飛行を行ひ総々批論に第つて くのは二十四日以後適當の日を選 び出發の時間は午前四時から五時 び出発の時間は午前四時から五時

大連競馬供養部では來る二十三、二十四、二十五、二十九、三十、三十一日の六日間屋ヶ浦の膨勝場では來る二十三、

前景氣頗る盛ん

散、廿日大道縣司族係に機等された関係の脚岐の水脈を数を盗み何れませい人れ揚げたことを表している。 は一次の 地域の 水脈を数を盗み何れました。

取で内抽酸新馬は六十三頭である

午後五時亦列を優し南山麓妙心寺日朝腦湾血で死去、準儀は廿三日財産係技手山内茂樹氏は去る十九財産係技手山内茂樹氏は去る十九

されている。 二萬間の家質をあげてある。い でもないが

家賃値 家主さんはドウ見る 戦主さん達が口を摘へて唱へるやりに結局家質は**陽供の關係に** 運動

丁荒なことは ってご損 ものが合法的方法による家質引下げ運動を標務して生れたが、までであるが、現實の問題として大連市の家質が日本で一番高までであるが、現實の問題として大連市の家質が日本で一番高まで定義ので高い安いの標準は決められないといへばそれ 之に跳し大家主方配ではドウいふ響方をしてゐるか當つて見る

引下は考へてぬない 佐々木正隆貸付課長談 であるやうにいはれるが、そんしたために債権の利子でも稼い

をれで呼今のところ家食が下げ につき考慮してもるない、 他家とも関かぬでもないが 一方の意思で解決のつく問題で はなし、手荒いことをされては 対つてご損ではないかと心得る しかし家質を供託して合法的に だケチな客へは持つてあない。 りだ。ドシく借手があるのだまた高い安いのムラもないつも の方でも借主において不服があっ方でも借主において不服があるが生れたやうだが私

餘り苦情も だから致方がない 出ない **地栗公司** 安配人

見受けるのは原債が絵程安くな てゐない、そして最近東拓より たまっ であるが今後もこの方針ですと 電々調査研究を続けた結果、で家質値下げについては早くより 近よりボッく値でけを實行較的高率であつたものに限り の家賃は約二萬圓に當つてある私のガの民家は約八百戸で毎月 池田操氏談

家人のみ利益のために全市民の家人のみ利益のために全市民のなり一、二糖館下げをすればこれり一、二糖館下げをすればこれに呼騰して一二糖品下げるのは知ってどうから一、二糖館で明まして「一二糖品でけるのは、一個の形態を見て神光であらう。その時間にゆかぬからその收入滅は外の形態を見て神光でもはなる。 還の義物がある関係から難に位安いつもりであるのと年間

ある、市中の家賃より一、二階 用の家賃は一萬個頭になって 無関いなって 国側頭になって 杉山虎雄氏談

市中側が でも権々説明教したいと思つてればいろく、お訴を聞き、當方 下げれば

日あけてゐる、家質の質定は

では、元來當行としては時間では、 をは、元來當行としては思して来 をい、元來當行としては明世別で をい、元來當行としては明世別で をい、元來當行としては明世別で をい、元來當行としては時間で ない、元來當行としては時間で ない、元來當行としては時間で ない、元來當行としては時間で 質挑ふ方針であるが最近は登

厭世

の日本青年

小兒諸病。

式京東

桐簞笥製造販売

旅 田 柳田 柳

20 ...

元利金機場が完了すれば家賃的報告が会なくなり、且つ十年間費の利子低下により標本を 近隣に比べ も形状質行しやすくないわ

原因は郷

因ではないかと

仲むつまし

一味七名が無電を

利用

八命救助演習

郵市場攪亂の惡事

型の高全を抑したが、同識なは可能の高全を抑したが、同識なは可能を全がした。 一、保験源や者候装火事を行び流 を関いては、 を出動する。 を発しるを操しるを操員。 をでいる。 ををいる。 をでいる。 をでい

なり大掛のもので海務局も聴彼にし、假裝溺死者假裝火事を行ひ演

上海・營口・大連こ連絡を巧にこり

大連署員上海へ急行

と云はれてゐる

藝妓の衣類を

情夫に入れ揚ぐ

落體し豪奢な生活を置んであた

高くない 高橋滿銀常務談

であるが、田中は七月郷里に西國 原因は 懐中せる遺帯が戦

もなく、水家庭には相常機能せるとなく、水家庭には相常機能せるとなる。 る十五日益濟寮を引き搬ひ友人間 では既に瞬國したものと思つてる 事情があるらしく常に同僚にその

鐵道で飛込自殺 ゆふべ昌光硝子裏で

一大同列車機量手子々潜脈域は直 たに急停車してこの管沙河口機 乗すり目も當てたが、砂酸は右腕で であた、沙河口器にて板板が近は戦盛に であた、沙河口器にて板板が近は戦盛に であた、沙河口器にて板板がを望し してるた長崎市生れの田中電」 してるた長崎市生れの田中電」 してるた長崎市生れの田中電」 してるた長崎市生れの田中電」 してるた長崎市生れの田中電」 してるた長崎市生れの田中電」 してるた長崎市生れの田中電」 してるた長崎市生れの田中電」 してるた長崎市生れの田中電」 側に佇んでゐた日本人青年が突然

古馬を後端する練習タイムを現は古馬を後端する練習タイムを現はしてある、尚新呼馬は関東順改良 昭和野競 内田第一氏の大郎氏の伏見號。内田第一氏の大見號。内田第一氏の

兄の第一線に

海岸 教念、治病、保健 の最良薬



物一切修繕を致シマス

カ新荷着御楽出り

大連和伊町二七

服みよい點で 激がを奏効と

小児科

門

電話六〇五〇番

環能はら屋化環治 科科科

ウ御用命次券現品持参ソ 二三三三 十十十五五五 錢錢錢錢 人兒

天親蒲うな子焼ぎ

滋養豐富美味新鮮 先づ健康! 安心して召上られる キャベン マルイ

御白料理

ピョ ウ

深 本 耳 鼻 咖 喉 科 大連市大山通三越隣り 醫学博士森本辦之助 電話五三七〇番

額樣。 御用北心濟稿。常盤號

たい で保健に充分

職東職では社會生活の改善向上を 対し会私教験事業の促進を職る目 対し会私教験事業の促進を職る目 を作成中であるが、差常り十月 一日から大連民政業管内に設置施 一日から大連民政業管内に設置施 であるが、差常り十月 まり現代社會の質情を考察しまり現代社會の質情を考察し

を である、これが下調査のためは出民政署長は二十日午後 である、これが下調査のたりを とれが下調査のためは、 こ十十日午後 である、これが下調査のためは、 これが下調査のためは、 これが下調査のためは、 これが下調査のためは、 これが下調査のため、 これが下調査のためは、 これが下調査の表した。 これが下調査の表した。 これが下調査の表した。 これが下調査の表した。 これが下調査の表した。 これが下調査の表した。 これが下調査の表した。 これが一般では、 これが下調査の表した。 これが下調査の表した。 これが下調査の表した。 これが下調査の表した。 これが下調査の表した。 これが一般である。 これが、 これが下調査の表した。 これが下する。 これが下するる。 これが下する。 これが下する。 これが下する。 これがたる。 これ 大子大松 の本義にもとづれて 大連に於ける施行區域は質ので、大連に於ける施行區域は質なのない。 大連に於ける施行區域は質なのない。 大連に於ける施行區域は質ない。 一般に高いやうに見受け 本は関東版では全満州に於ける社でも でも いやうに見受け 社会事実職合会をも組織すべく目 を 下野戦中である を観察した、實に通風裸光悪くを観察した、實に通風裸光悪くがでも支那人家屋に比較し日本人家屋は日本人獨特の潔癖な気性性から掃除などは好く行き届い性から掃除などは好く行き届いた。併し家賃はこれ等倭屋でも 勢妓が夫に

離婚請求の訴

口的意识]太平年極近

他の女ご同棲したこて

「東一京・記」「路和清」 日間防一力外たる佛科駅や支那街に根據を 一味の無電磁用は極めて攻勢なる 一味の無電磁用は極めて攻勢なる 盛會を期待さる

全満水上競技近づく

とは実際ですが厳したものだともいうであるが、これが方 置くなど決倒を潜るため周囲な計

用意周到な一味の隱家

某辯護士 計畫に與ったか 上が

けふ市中各商店に陳列

弓

景品

内左配谷商店々頭に陳列し谷位の御観覧に供することに致しまし続すところ十日に迫つたので、常て到表の谷敷品は二十日より市総すところ十日に迫つたので、常て到表の谷敷品は二十日より市場では一般での地談は

人體製紋服

館仙座藩園地十客分 常戦福デワーへウス

行理的 大連 獎 藥 會 批

月兒の友進孟

金剛懐中時計

歴程機防には受難の胃臓疾

設施用道式

密り道もあるから、そ

んな話なら

「田原町からの戻りだ。少し先に

黒く、不無味に配んでゐる池町

怪我のねえやうにしてえるの

を組んだ。

大蛇がある僧だの物臓な晩だぜの「おいツ!お養さん!その施には ふざけた質似もいい加減にしてく

がようし、神性小三尾 がについて報告中で

本野球連絡放送(實業×名古屋高 高)、年後と時三十分より 高)、年後と時三十分より 高)、年後と時三十分より 大連神明講座(大連の省路橋に

今にも大蛇が鎌目を硬げて、むつく

「だから私アお前さんに居て貰え一て久々で歸連し

讀者優待割引券

讀者優待割引券

踊る人生と干丈の紅戀

八月二十日から大日活で

日

師る人生と千丈の紅戀

が大蛇にでも育まれて、一思ひに が大蛇にでも育まれて、一思ひに であっていなどと、突きつめ

演藝新刊紹介

川崎弘子主演和安全

からか?判つてお異れでござん

本社後機の大日活に於ける大衆既 で 本社後機の大日活に於ける大衆既 正 一 大 クロル 郷主演 で は 1 十 大 クロル 郷主演 で は 1 上 り 上 吹されたが 量 夜 共 に 非常 な な が 込 で 死 に を か ふ は ら ず 階 上 陸 下 共 に 大 総 本 に も か ふ は ら ず 階 上 陸 下 共 に 大 総 本

大議員となる編集さであった さにもからはらず階上階下共に大 さにもからはらず階上階下共に大

第二人であった▲大日活の「離る お二人であった▲大日活の「離る ファンの間に聡の種となつてある 本歌選の大日活は「ロイドの一番は を上映するが、白癬愛光・久 たで與太とシャレの名解説(?)を やると力んである▲スマラン解近 そに大選を去る、総を縫るべかり

若丸圓洲虎若の

「あい」お前さんがさら何しやる 店を締めることにしましや

大器根が組の潰吉の前へ立ちはだ のではかりが明るく、往来へ灯 のではなりが明るく、往来へ灯 のではなりが明るく、往来へ灯 「職はこれからどこへ?幾ら見世を素通りはしどうござんす。鳥渡 「おり!これはお嬢さんか?相様 し清吉哥さんではどざんせぬか は知れてゐるし、店を開けとくこともないんですが、あんまり世間。 の数等が意気地がないんで、私ア 高渡勝手にお冠を曲げてみたので ござんする當る相手もないのに馬。 の思い今夜など、お客のこないの問がさら何しやるなら無選に領味 差詰め私が人身御供にあがるでし、が衝導へ舞びゼノナ たかたで、後の世までも無り草に 身ですから、大蛇の餌に一思ひ、やうよ。どうせ極樂へは行けない 難事へ舞ひ込んだとなりやア、

と、奥の矢返し女へ職をかけてるにするから店を締めてお臭れ!」

大人の指導による外人少女の舞踊をひり見続に申込めば無料にて入場祭をの歴史を文郎氏のセロ歴奏等の歴史のという。

▲紫唇順(としま) 唄北村席かし▲獨唱イ(春の夜)ロ(菊) 大瀬骨 乗馬校本科際俣喜代子

渡すとの事である

原作…道明寺龍平・監督…森本登一十一日より大公開

金融機關

常的呼

ンチネロ

飲清料凉

スズラン座

お別れ公演

▲天氣豫報 本料理献立 本料理献立

のか男松郎の・千阪

高側に買受ます 原御消具)共特別 歴ペー不用品(衣

の意気もで

保管確實

貸出勉强 弊店の特色 かった。

[040g

後援 滿洲日報社

讀者階上五十錢階下四十錢

領!何をですくと考へ込んでる御利益ですよ。さて精吉さん!様

會會會

大日活に於て 八月二十日から

はない。 大連音樂學院の

村間繁重氏主率の大温高等骨紫院においては來る十三日(土)午後においては來る十三日(土)午後においては來る十三日(土)午後時まり經濟遊覧會を滿線社員俱等部本1ルに於て開催するが富日紫部本1ルに於て開催するが富日紫部本1ルに於て開催するが富日紫部本1ルに於て開催するが富日紫部本の舞踊教師パソンシン 來る廿三日開催

京都へ歸るお別れ会演として明夜京都へ歸るお別れ会演として明夜上り三の転りを上演する事になって、 郡 歌 顧 宮鳥骨頭 一幕一、 郡 歌 顧 宮鳥骨頭 一幕 三、歌舞伎殿 壺坂 二場 四、喜 歌舞伎殿 壺坂 二場 二場 一名 野であり入場料は五十銭域一の大 等であり入場料は五十銭域一の大 米料金で好成績である

▲講演 未定) 新城争黻 ▲講演 未定) 新城争黻 ▲講演 未定) 新城争黻 人とり全日本選手權大會狀況水上 とり全日本選手權大會狀況水上 松山長谷夫、ピアノ高折とヴアイオリン獨奏 立松

老校屋質店

▲落附い

や船人の小唄 ヴァインガル 、濁唱 イ可愛娘が散步すり い ヴァイオリン 小奏鳴曲

讀者優待映

踊る人

ラピエフ作

廿日

特別興行

大連市浪速町一丁目 電話五二六の節

生態器障器

廖 のでも御用下さい ジャバン・フィリスト・ビュー

つ田週標準では作品を対田文 文特作時代劇 京子清 C

晝夜共に満員の盛況 、
畵會

で、絃は杵屋大代音、中村襲子ので、絃は杵屋大代音、中村襲子の

岐路に立ちて 國館

小日向水道町鹽國社 被)其他夏らしい凉し 被)其他夏らしい凉し で價升銭

御食 地下宝金

大日本麥酒會社 特釀

大加大山道。宅 0)

水粧化たし明要らか水のまちゃ 君に捧げるこの一概 あなたに贈るこの一版 永久に若く 美しきお肌のためにし お化粧下 日やけ アセモル





七颁野天

蒸タオルの香水として

白粉のとき水に

リボンシトロン ▲色の白くないのが自然にかくれ: ▲上品にそして清新な……………… ▲生れつき色が白いやうな白さん… あぶら性の方ー年ばいの方にも の白 ない方の白粉 御相談に應じますの が記載を含める。 新

た美しいお化粧が出來ます

元 話 六 还 四 四 香 鑛 業所

ては信用ある各薬店、雑貨店にて販賣す ▲徹底的鰮除なら駆除請負公益社収水電話六二三 の二倍、價格は其の三分の数名が敵にその發生繁殖を根絶 價格は其の三分の

(可認物更多畫三书)

くまア、か紐の頭ではござんせわ

ででは、 でいましたのは、 をでいまする。 では、 でいましたのは、 をでいまするが でいまする。 でででいまするが でいまするが でいまするが でいまするが でいまするが でいまするが でいまするが でいまするが でいまするが でいまする。 でいまするが でいまするが でいまするが でいまする。 でいまするが でいまする。 でいまる。 でいまる

造

盡

日活時代劇特作品澤田清主演

全十卷

喜 基 基 基 基 是 英 一 詩

が社特作品天然色レヴウ映画

全九卷

鎌 假 面 ●

讀者優待映畵

會

(32)

3

みお銀(三)

●使用簡單、芳香性にして『シミアト』を残さず

型 を占めて 居る 配して 上海 が 教を占めて 居る 配して 上海 が 教 学 的 で 居る 配して 上海 が 教 学

大変保止をなすもの多く前年のそれ と管異なかったが、英間粉及び打したなすもの多く前年のそれ

上海市場に於ける

滿洲特產物取引

(1)

聯合管理事 中西龍三郎

满

大連市設五小賣市場

圓減少

七月における賣上高

ける賢上高は三十三萬二千九百二 大連市設五小賣市場の七月中にお

幸程

昨年に比し七

月の

一三、〇三〇

大連魚市場不振

不漁と魚價低落にて

型の下落を示した 型にして前年同期に比し質七銭九 型にして前年同期に比し質七銭九 の下落を示した

に得意の職跡に努力してゐる 大衛主の誤解を求め出穀期を 大衛主の誤解を求め出穀期を

糖安の

みて

新規貸付高輸入組合の

『大阪二十一日愛電温』大阪 の日願がは食社の内容懇談 郷の傷め 線楽学説 んだい

一十十九八八四月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月日 本世紀 1200 年記 1200 日記 12

商議役員曾

七月の統計

大連商工資源所では二十三日午後三時から役員會を開墾左配の件を附置するといる。製鋼事業等別委員會設置に関する件で、製鋼事業等別委員會設置に関する件である。

人組合の

一兩行株主總会 前上時から株半總督を開催 前上時から株半總督を開催 有息を復活

新東して元金に繰んるべし ・ 東東して元金に繰んるべし ・ 東東し地方の預金利息を ・ 東東の一般のである。 ・ 東京の一般のである。 ・ 東京の一般のでなる。 ・ 東京の一を、 ・

殺組剤の免税申

だらうとみられてあるだちらとみられてある にならので一般の消費も微 るが、若し発表になれば除っ なが、若し発表になれば除っ なが、若し発表になればない。

大地産の松井 京城へは内地の長崎山口蔵が毎月五、六百匁づム入荷が毎月五、六百匁づム入荷が田田五、六百匁づム入荷で銀町山口蔵

利喰ありて ・ 大学は十六分の十一と(八分の一を)、大学は十六片十六分の十一と(八分の一安)、経育は三十仙四の一と(八分の一を)、大学は九十六分の十一と(八分の一を)、大学は九十三剛九七十六分の十五と(十六分の十五と(十六分の十五と(十六分の十五と(十六分の十五と(十六分の一と(同事)、米英は四十九弗十六分の一と(同事)、米英は四十九弗十六分の七と(八分の一高)、米支は四十九弗十六分の七と(八分の一高)、米支は四十九年十六分の七と(八分の三高)、上海が、大学は四十二分の一高)、大学は四十六分の一方が引消利喰ひありて急落したが引消利喰ひありて急落したが引消利喰ひありて急落したが引消利喰ひありて急落

引 五十八圓四十銭

神戸豆粕

年 五和昭

ものと信ぜられてゐるが、海陽設立の性野上陽東懸常局との臨係が 変の性野上陽東懸常局との臨係が の性野上陽東勝常局との臨係が

と共に之を翻してゐるが、感視物 中の模様である

山町市場

不正事件の始

一部市議の策動が奏効か

田中市長これを如何

B

外內生食鳥 魚 蔬菜菜 部部 難 內 類 官 業業 場 內 類 官 小頭 資

二五三五一四二七 四二七一三六一〇〇四 四二七一三六一〇〇四 四七二一八〇〇七八三

鳥魚無菜 ★月對剛子 本月對剛子 本月對剛子 大月對剛子 大月對

かとも取されてゐる 十五銀行減資

に付けられない有機であった。 二十日は一貫五十七回で取記 来た、併し大連の市場へは回 なから街十四五日後でなけれ

大阪市主催の関係見太市開

を旅跡院の失極手標き売でしたの を旅跡院の失極手標き売でしたの を附調する密である を開調する密である 大通取品所の数は 大通取品所の数は を行ってあるが、 機能上として後期は二時代まで収 を行ってあるが、 機能を行ってあるが、 機能ととを二三の取出人にあるが、 機がした。 で行ってあるが、 のでは、 が、 変にしてあるが、 のでは、 ででいる。 でででいる。 ででででいる。 でででででいる。 ででででいる。 でででいる。 ででででいる。 ででででいる。 でででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 ででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でいる。 でい 運合會社活躍

事代行も整次点せる複機である。 事代行も整次点せる複機である。 東代行も整次を見るに建った内部的酸脈 を急いであるが、銀道扇の自脈 が金部解決を見るに建った内部的酸脈 で大々的活酸酸終え機械が関係に繰失し を動いであるが、銀道扇の自脈 があるが、銀道扇の自脈 があるが、銀道扇の自脈 があるが、銀道扇の自脈

中西理事出發延生が、事務打合せの都合上二十出級に延期した

0

本上親を中心として郷飲するので 地の外奥口蔵(長江沿岸)大豆約・中東・戦神機道沿線大豆約・中東・大豆約・中東・戦神機道沿線大豆約・中東・大豆約・大豆約・大豆約・大豆約・大豆約・大豆約・大豆約・大豆約・大豆約・大豆ので

ある。耐して之等の大豆の用金は が上海に於ける油房工場は左の五 が上海に於ける油房工場は左の五

上海搾油 業工廠一覽表

共は月下之れが跳策を確略中であ と思ふ、上海影響油豆既同製会館 大豆の配明曹製行を希謝した、秘 大豆の配明曹製行を希謝した、秘 と思ふ、上海転換油豆の と思ふ、上海転換油豆の

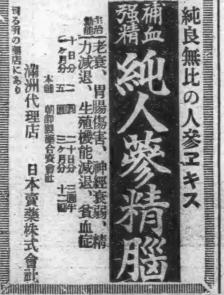
はよりもむしろ食用として多く耐動を整また。 等をまして消費さられて居る、故に 上庭向大豆に就きては食用向大豆 が適當であると信ずる、はに 表が適當であると信ずる、は を選用して一、二のでは食用向大豆 を選用して一、二のでは食用向大豆 を選用して一、二のでは食用向大豆 を選用して一、二のでは食用向大豆 を選用して一、二のでは食用向大豆 を選用して一、二のでは食用の大豆 を選用して一、二のでは が適さては食用の大豆 を選用して一、二のでは が変されて無いばめ之れ を実にしてある。 満種質が が重されて無いばめこれ を実にしてある。 が重されて無いばめこれ を実にしてある。 が重さなに便数して が重さなにして多く耐動と をまたが がでは がでは があると信ずる。 と海では をまたが がでは があると に変が がでは がでは がでは がでは がでものでいばられて無い がでは がでは がでは がでものでい がでものでき、 がいまして がして がいまして がして がいまして がして がいまして がいまして がいまして がいまして がして がして がして がいまし がして がし がして がし がして がし がして がし がし がし がし がして がし がして が

明示する事が出来ない。

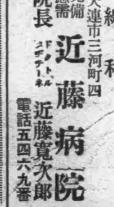
◆ : 現在の市場制度に制 は野に総職者され、マ は野に総職者され、マ についても臓関された についても臓関された ■を及ぼすべき市場の間 「関示する事が出来ない。

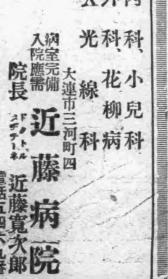


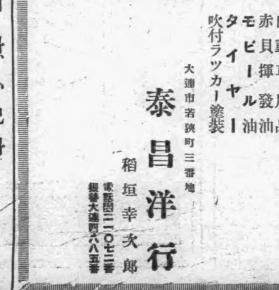












書撮影所

・花の十字路(人気作者が癒を執い 司山治

◇(蘇灣) 社本日之業實

種の拵へ方 ▼張物を上手にする秘訣▼和秋向きの男兒服三種▼初秋向きの男兒服三種▼加別の信息を

①魏公山 0 0 0

◎暑中 **手な離乳法の研究**[驗] 具の大性酸 の花の水は 縣の妊娠 齒~亂杭齒咖 研究(讀) 明を完成 ねる

▼諸屋信子さんはこう仰言る

させた妻の詳

たちど に良縁が得られます。結婚難の時代、みすくし婚期を逸し給ふな、でゐても良い配偶者の見つからない男女は、本誌を御贈下さい 」な 縁が得られるか?五夫人 裸な打 れるか?五夫人のお話の心療などにはかりの一座一次一口見合いの心療と

愛らしい形・高雅な色・ゆかしい香

サクマドロップ

工工 學事 士士



賣發日六十

意氣冲天!

閔

ED

田田山 店 A 號ナイ

蛇

大衆文藝の方向大衆文藝の方向

車轉

大連市信濃町岩代町角 三根 眼 四醫



吉田粒二

郎

初秋の

戀

路

柳

◆説小ルデモの題問◆

會談座)

者席出 **國**

モダ

婦 初 私 秋 見た彼女 膓 0 季 0 ス ス 病 水 ピ 顏 0 ટ 岡東 2 美 田鄉 經 衛

室 子兒 生 明文屋士一雨くづ秋 子綾原中一妻稻遠虹

業態るな奇怪 正即決司群社會幾保命生

0

寬

の子供を買ひに來たある夫婦もないに、以表主任も泣いた。下宿のおかみさんも泣けば、以夜子のために、某百貨店の私設刑事も泣けば、以次子のを子のその後は、どうなつた?

母性愛の權化

きらつ革命の女

愛すべき蔓草

なせ斬ら

永两小竹棍 片村林^内原

被光识都个 了思了了了

あの騒力な均熱の穏々波ほし、 放臍に行動したお二人が、髪 切部でする今から十年前、懸 原軸博士へ聞られた哀切 原女史から ノウエト 見の衛 あ

婦人公論時代が來た!! 然 岩婚準備 期 婚期に立つ青年男女へ 求めて得ざる結 飛 3 見 婚の 醫學 悩み **資切れぬ中に** すべきか



柏斯華種 入相

壬生瑛子 正木不如丘 誌記者 中雄作 田邦坊

宫

田

和

游 見里◆ ■ 給山_司費◆

丸東ル京 中 秋の手の化粧法 私の洗髪法・諸家 買れない。娘、美寒三 名士の朝食・諸家 来来京論

ジュスの脳味噌はソ ユス。

年中かい描が 狂歌愛の編夫

見

婦人記者列 康 共稼 新婚牛 モダン簡易生活 保 3 0 12 0 0 話 T 生 杉 小 並 打 喬 利 吉 得

声が少將の令嬢

に引発した、原氏の張剛良氏説問と曾見して、原氏の張剛を求めるため と曾見して、原氏の張剛を求めるため では、東京歌の宗宗を求めるため では、東京歌音をなした特作 には、東京歌音を求めるため に到着した、博氏の張寒良氏とは不り正午北 北方政府樹立

は十九日午前三時十分青島群を發 部が濟南に復屬する薫用特別列車 部が濟南に復屬する薫用特別列車 では、一次直屬の各股局幹 では、一次直屬の各股局幹 愈よ濟南に復属

律より入職の河南丸にて來通した一いてゐるが「本人は何等時局に關 前陸取總長趙貴親氏は二十一日天 が時局がら同氏の來述は注目をひ

相當の時日を要する

飽貴卿氏の來連談

年度館行歌界において前後二回にたよって膨くも一億見常の床派をこれら既定無費については既に五これら既定無費については既に五

將校を増員

軍制改革に際し考慮

を自會にこれる 動に飛んだ絵輿を演じたがこれる 意奮識足が一切の行掛りを捨て委 が開で、去る十八日第一回の審査 なる十八日第一回の審査 震長取とよりえればに説明する 富福分野長を赤双州後町の野菜な ● と、政府が衆際女の振示を観絶し と、政府が衆際女の振示を観絶し と、政府が衆際女の振示を観絶し たと同様般然理經、そこで、今日 は先生の鎖夏法についてのお話を がしたいよと、数綱に現れた のが間線の御本館だ、頭をいがぐ かに、木織の浴衣姿で、配者を瞬 ので、大磯の谷衣姿で、配者を瞬 のといよと、数綱に現れた のといよと、数綱に現れた のが間線の御本館だ、頭をいがぐ のといよと、数綱に現れた のといよと、数綱に現れた を を と、政府が衆際女の振示を観絶し

從つて現下の本邦梅選界に於て

から弘化といふ古母がはたる人ば一 では女外年代、なほ溯つては嘉永 では女外年代、なほ溯つては嘉永

はり、口の矢釜しいヨポヨポな爺。

▼…しかし年齢の多いといふこ 日月減しとかや、陛下の側近に奉 仕するお軽々であれば、答ふりし か時代色こそ却で珍重すべきである ▼…戦事必襲官動議では海相が

不老門には日月永し

センス

| 一時代の遺物| 位に見てゐる不心| さんと想像を選しうし、殊にモポ

元氣でお揃ひの精査委員

事業中、前年度より本年度へ顕越し 業中、前年度より本年度へ顕越し で、常局調査に係る失業教演事

政権したが崇渉政府を一行の機能役と祭を終へて来る信慶丸で配験で聞い、月間の線を終れて来る信慶丸で配験で聞い、 露の方針 効果少ない救濟事業 八増加す ケ月に

漁區問題と

カー氏の報告によると映画省の人 ・ 子を質響しその金も豊勝し鑑した ・ 子を質響しその金も豊勝し鑑したの語

満鐵の節約額は 千二三百萬圓か けふ引續き重役會議

管内事情観察並に事務打合せの偽 一十日本連の外務省事務時期村 あ二十日本連の外務省事務時期村 あ二十日本連の外務省事務時期村 の相外事課長、中谷監察局長等と 一個見事務打合を遂げたが、今十二 一日記述可奉送の場合を遂げたが、今十二

院東藤野令(二十一日付) 陸軍航空兵大尉 山田清作 正七位勵五等 山田清作 月月月月東月月月月大月月月月 京 阪 三後期五八八六四 ※ 米九九四 ※ 米九九四

三三 後 五天二 天 五元 元 五元 元

19 1氏は「推退極まれる」 を英國に於ても古船の整理 を英國に於ても古船の整理 とされてゐた。百四十萬順 とされてゐた。百四十萬順 とされてゐた。百四十萬順 とされてゐた。百四十萬順 とされてゐた。百四十萬順 進を上

古船の整理

今尚ほ

代こ

扩

說

を有する本語のの整理は の整理は の整理は の整理は を有する本語の を有する本語の

他日に備ふるの衝撃

店、彫村、高南に紫起するらしい。

事にした機構である、而して今回の改善派の重要監は、、

濟南奪囘

一、高等風校を現在の高等普通数でこれに関する詳細な具態表は一大學の方は現在の設備網費の範囲内で、出來るだけ定員を就程度造成少一大學の方は現在の設備網費の範囲内で、出來るだけ定員を就程度造成少一大學の方は現在の設備網費の範囲内で、出來るだけ定員を構定。

閣氏自

ら陣頭に立ち

派に氣兼ねした結果で平津地方はこれが爲め一と安心の態である十三の兩師は近く南下徐州に向ふことゝなつた、北上取止めは奉天一、二十の五師團で右は黃河を渡り北上することを取止めにし十、【北平特電廿一日發】濟南附近に在る中央軍は十、十三、六十、六十

の後定で明十二日東京競上海、南の後定で明十二日東京競上海、南川田山川県の東部川上二週間の後には、東京十一日日東京部、外務名正細

谷課長南京訪問

る冒襲命した、部署にして指揮に

を競し熊州に赴いて衛南郡国を期る官競会した、尚閣氏は近く太原

来の第二、第四、 は洪浦線北段の形 は洪浦線北段の形

と
自見協議すること、なった

條約非難

2

合し第二十

電車を組

高等學校改善

傅氏北戴河 張學良氏と重要な會見 とって出目されてゐる〈寫順は何

は、息子が南浦響大に在壁中だが病気を関いたので見舞労々来たのだ」 と関いたので見舞労々来たのだ」 と関いし最近の北支状勢につき語

5

臧省の大節約交渉に對して

陸海兩省の承諾困難

側捻出の方針

心績費中から

自分は長らく天津に居つたもの で時局の渦とは選のいた生活を で時局の渦とは選のいた生活を で時局の渦とは選のいた生活を 言が放たれ人心動揺してゐる。 本紙の出帆前の情報には色々な流 では近々/〜物である。 を再三會見してゐる。 と再三會見してゐる。 と再三會見してゐる。 と再三會見してゐる。 と再三會見してゐる。 と再三會見してゐる。 と再三會見してゐるが北方政府 は此まだ北方の等にあるが南軍の 後氏は頗る元氣がしく孫仰芳氏 と再三會見してゐるが北方政府 と西京でにはかなりの時日を要

副司令就任督促 吳鐵城氏が北戴河へ

費を出とす 兵卒の教育上

法規缺陷を惡用 不當な利子稼ぎ

遞信省防止策を記究

自働式電話

來月五日完成

新進拔擢の叫び

沈滯氣分一掃のため

某國に譲渡

学士院の會員に

沿線の送電

でにはったようは、

近く渡初式記して

ので大正大年、従来の台級所を施して来たその後附属地が耐次發展して来た

「人位」

た、大

台四十年頃の一網人は優別の食職所に改組したのであ

本天 商工館職所が出来たの 間関に店舗を持つ。 前関に店舗を持つ だ

総領革輸管内の商工業者を包含する。

山西モンロー主義の利害

品班 数 自 小

庵谷忱

要天慰ではこれで記念杯を作り響 ・ 異くも側下賜金を採受した は全體に理り配布した ・ 京城軍を迎っ 陸上競技 來る九月四日

したと尚商會公安局看祭長低命の したと尚商會公安局看祭長低命の したと尚商會公安局看祭長低命場解二 なったので十九日事務のロ機をすることに なったので十九日事務のロ機をすることに なったので十九日事務のロ機をすることに

間があるが未だ確定しない

町の便り

記念杯を作り

危險な高粱畑

金

奉天署員に配布す

きに重つて家堂を燃難して一常民 ・ はれたこと」でその逃促は各方職 から大いに惟まれてゐる から大いに惟まれてゐる

を開催することになった京城軍は東を開催することになった京城軍は大台の大学では来る九月四日京 職業大會出場の山本、藤田、大澤 御の今井、ヘードルの植木、投脈 神客を整へて居り災率天軍は短距 神の今井、ヘードルの植木、投脈 神の今井、ヘードルの植木、投脈 神の今井、ヘードルの植木、投脈 神の今井、ヘードルの植木、投脈 神の今井、ヘードルの植木、投脈 神の今井、ベードルの植木、投脈 神のの野、縞高路の伊藤の総氏を始 の側野、縞高路の伊藤の総氏を始 の側野、縞高路の伊藤の総氏を始 の側野、縞高路の伊藤の総氏を始

までに實現か

市路、槍攻、千米メドレー・千五百米、脚級校種目は左の通り、建高い、高障碍、建高、調験校種目は左の通り 世界では十八日同組合の際が編があり、その歌可願を奉天響に提出し、響でも大作情下げと同時に料理代の領であるが、まって歌可の等であるが、まって歌可の等であるが、まった。歌がは、同科・神店組合が花代のであるが、まった。歌がは、同科・神店組合の際が場でも大い。 間値下げの主なる花代は左の通り 出後一緒に認可をする豫定で多分

安華線にて來學本郷氏宅に投稿中の観暖の金谷八郎氏と共に廿日朝

るが一兩日中金谷部長の遺骨酸の金谷八郎以と共に十日朝酸の金谷八郎以と共に十日朝

金谷部長遺骨

二改正

内地へ

を擦へ躊躇する筈

浮浪人の脅迫

は上田、三角氏等の調係により登代保険となつてるた共産組合事件 り積か金の半額二萬五千圓を佐上田、三角氏等の調停により差 即田氏より八千七百五十間を 第次郎氏より一萬六千二百五十 八時より正午まで六本三国を七 とし五十銭を四十銭に、舞妓の をし五十銭を四十銭に、舞妓の 長初の一時間(座替を含む)は 最初の一時間(座替を含む)は でで、舞妓の 場より米率中島方に泊り脅迫して 帯無機中島正でしば去ら十七日液 帯無機中島正でしば去ら十七日液

田はより然率中島方に注り物はして 金十四圓五十銭を得之を遊りに作れて能内で散撃を働いた上数して 中ると凄交印を並べて形を避めして を表に作物と強さ働いた上数して を表に作りを強さるので泌に率大響。 がれてあるが彼は歌場。

の負擔でコタく、続けてが残る機

電響を ・ はのる時も悪文句を並べてする ・ はのる時も悪文句を並べてする ・ はのる時も悪文句を並べてする。 ・ はのる時も悪文句を述べてする。 ・ はのる時も悪文句を述べてする。 ・ はのる時も悪文句を述べてする。 日突然塞天に來ても線虚糊まる彼 の行動に始末にをへず中島とは叔 の行動に始末にをへず中島とは叔

北郷線白旗鑑方面は稀有の水準で北郷線白旗鑑方面は稀有の水準で 北寧線の不通で

能は支他に昇格した。因

因に哈爾賓購

江

雜

爼

午後一時より「現代に處すべき」「日午後八時より楠町教會になって「世界に呻吟」第二回は二十一七日午後八時より楠町教會になった。

を表してるる。プは十二日 両別里 は方の状況については非常に精通 地方の状況については非常に精通 しー時家主組合長を配めてるたことがあると云はれ、彼の間下には とがあると云はれ、彼の間下には スクが活動し、 北瀬ー黒龍江泉 が全治し十四日隣任 郷部長は熊岳城温泉で標整の結果 郷部長は熊岳城温泉で標整の結果

吾等。町 工業方面に 大田田 3 10 ve 4/1



批に過ぎない状態である。 現在後つてゐるものは懂に十

寒天原蘇、満洲製松、奉天化。大魁なもので南南栗塘、浦嶽 鉄出した。それが大正九年三月の 薬その他の大商工會社が五十 あつた、當時のこち 大きらの企

の世界的景無時代の大正七八八

大の商駅は他の土地と を中立を守つてるる、機内はがに を中立を守つてるる、機内はがに を中立を守つてるる、機内はがに を中立を守つてるる、機体の土地と を中立を守つてるる、機体の土地と を中立を守つてるる、機体の土地と を呼立を守つてるる、機体の を呼立を守つてるる、機体の を関えていました。 を呼立を呼ってるる。 を呼立を呼ってるる。 を呼立を呼ってるる。 を呼立を呼ってるる。 を呼立をがってるる。 を呼音を をいました。 をいました。 をいました。 をいまる。 をいる。 をいまる。 をいまる。 をいまる。 をいまる。 をいまる。 をいまる。 をいまる。 をいまる。 をいる。 をいまる。 をいる。 をいまる。 をいる。 をい。 をいる。 をいる。

で、第二は工業經際に最も好いコーロ交通の職験に位してゐる、第一の大きな强みを持つてゐる、第

中 大田 中 後二時より列車區コート とおいて奉行、機能最初よりの優別において一勝者となりたる 一回戦において一勝者となりたる 鐘歌野機馴匿の庭球試合決勝戦は

松野田丸棚 四 129 草吉品島西多松有黑內林脇線 盛花講習會 第二囘戰 野本女」三一四人民林脇 不順(支襲(品中)(草津

高房店家庭研究會では八月二十日より十月末日まで無週水曜日午前 市にて生田夫人を講師とし越花の間にて生田夫人を講師とし越花の 九日急行にて當地通過赴低した 森司令官通過 日から十月末迄

省政府の豫算 前年に比し大増加 合是外司激內財陸 商交法 可務政軍 計費設置費費費費

鐵聯組遂に捷つ 房 店

對機關區庭球決勝戰 概念 本]四一 三 第二千、因に當日のスコアー及び

111 0計3

等は表面側氏教育(親日派)及び中院間中心波は滑城教一派にして後の宮である 展報映過機常総此事件は月下郷本 が、二回に登局された十九名中 五名を除き十四名は十八日夕変治 を維持送を対して他訴された十九名中 ではいるが、 ではいるが、 ではいるが、 四名を 秘密結社事件 安東領事館を識道明書記生任今回安東領事館を職道明書記生任今回安東領事館を調道明書記生でとし金額は 三川路濃温を膨起する事となったので西郷でとし金額は 三川路濃温車込み本でとし金額は 三川路濃温車込み本でとし金額は 三川路濃温車込み本でとし金額は 三川路 (第八回) 金八十八圓也 昌光硝子會社 金二十五 南區代表小野木孝

最盛期の第二國民の心身發達を は、 日間に親み且つ態味向上のため十 月四、五の雨日東郷において疎楽。 品評質を開催する故今から光精を にないて疎楽。 蔬菜品評會 月四、五兩日

赤病豫防錠劑

安東軍零敗を喫す 名古屋高商ミの野球戦

の職務の下に建立の運びとなった。の職務の下に建立の運びとなった。関原学之助、田仲代三郎の建立を明ばれて居たが、今回軍の

五日以来減緩の歴日行き業客は率 大鵬だけでも一日平城三百名曽町 彼害事件を聞くが率天鴉當局では 北平に向ふものは總で清鐘院で祭 乗客は増加してある。大部分は で日本で利三鵬であるから一 日九百間増收してある課であるが、概して北寧線開刊を修つするから一 日九百間増収してある課であるが、概して北寧線開刊を修つて してゐる、之れにつき率天瞬では 意 ヒネを嚥下し厭世自殺を遂げた 南道王れ無職朴熊※二五)は十九 南道王れ無職朴熊※二五)は十九 ★今井第州郡隊長 ▲高橋京大教授 二日夜野添年記長が該案を携へ赴に、する具効案は奉天においても 朝來率同日撫順へ 计偏談司令官 十九日渦舉公 2 十九日獨率撫順 十九日過學繳 路線の井鉄巌氏は十三日京都 聯哈

廿四日公園にて

公

主

嶺

弓道競射大會

(可認物便節度三第)

奉

天

語る

氏會長の認可

兩氏更任披

祭岡中佐 た花谷少

件を未然に防止することに努め から率天市民も高粱畑中の一人 から率天市民も高粱畑中の一人 ののでは、日本のでは、日本のである。 ののでは、日本のでは、日 で匪賊も相當多いやうだ、殊に今年は銀安と支那側財界の不況

会では廿日より三日間事務所に陳 本ルロイド會社よりセルロイド院 具の見本を設付して來たので同租 日本を設付して來たので同租 の表本を設付して來たので同租 を開き右間類と會矍隠滅に賜する高楽につき協議をなす處あのたる高楽につき協議等なす處あのたが廿二日午後三時から最一議員會が廿二日午後三時から最一議員會に提出する。 水害で不通となつてゐた北寧線新水害で不通となつてゐた北寧線新水害では白族堡まで明通その他四沈線の水響個所も近く復舊する見込みである したその結果第二回戦に大国實策 は六ケ戦い話だ▲荷俱戦争も率天 は六ケ戦い話だ▲荷俱戦争も率天 て始めてのことで満洲野球界に正を見事破ったのは睾天満側が生れ 市内大和町一丁目苦力與江長湾の市一時四十分領局家の表入口にで数重捜査の指標。當地を距る東北十支里の黒山梨紅蔵子の部落に北十支里の黒山梨紅蔵子の部落に北十支里の黒山梨紅蔵子の部落に北十支里の黒山梨紅蔵子の部落に北十支里の黒山梨紅蔵子の部落に北十支里の黒山梨紅蔵子の部落に北十支里の黒山梨紅蔵子の部落に北十支里の黒山梨紅

員覧ではない▲前途は遼遠との意に歴史的記録を作ったと云つても 過官ではない▲前途は 領で進み、との決心で努力し行

感して巴まぬ

此關子では不戢無はます~ 突然と云ふやりなものは無いやりだ、

△大屯 戸敷百九十一戸、人口九

戶數三十五戶、人口百

豊食ぬきの小學兒童

地方係から給與に決す

秋季大祭協議會

ること A なった 蔣徽消費組合問題 率天、大連の 雨會順所にて起草す

哈

阐

賓

会議党において氏子徳代及び世話会議党において氏子徳代及び世話

第四回蔣鐵夏季大學は左の通り行

▲ 西京中国 月數四百七十二月、人口三千二百四十五人 | 一百八十三人

選手 慰勞會

西部線に

一密偵網

露國の活躍著

の政治、經濟は總で勞農側に報告

六時小學校の後庭に開催路宴を退っ合作選手の慰婆會を二十日午後の各年選手の慰婆會を二十日午後 はれることになった

郷立守備線司会部司高級副官山中佐より西村地方本務所長続に中能はかあった 田中佐謝電

出雲大社支所落成

し御健康と御發展を祈る市

古城省の財政は民國十三年前 送は 市城省の財政は民國十三年前 が財政職長となつてからは 節歌を と共に一面には 増取を全てた 度の歳入は二千五百餘萬 圓に 難し す 定の歳入は二千五百餘萬 圓に 難し す た、民國十九年度 (七月より 船を これを昨年度のそれに比較すると

より通知があつた、森内投手を失った。 ・ ででは、三十一、一日の三日間 ・ ででは、三十一、一日の三日間 ・ ででは、三十一、一日の三日間 ・ では、一日の三日間

番であったが今回三六二五に帰更 永安小學校様来の電話は二〇九六 永安校電話變更

無料で領布

福海は三急性所受名手腕を附して を対象ので、地方事務所に三百人 が防薬が蓄地地方事務所に三百人 が放って来たので、地方事務所に をは、一急性所受名事になった、 着に無利分興する事になった、 着に無利分興する事になった、 着に無利分興する事になった、 着に無利分興する事になった、 着に無利分興する事になった、 着に無利分興する事になった。 着に無利分興する事になった。 着に無利分興する事になった。 着に無利分興する事になった。 着に無利分興する事になった。 着に無利分興する事になった。 着に無利分興する事になった。 着に無利分興する事になった。 着に無利分興力を事務所に がある。

理事會から管理局に對し、今後對 の新名稱を附記したものを送附せ よと通告した 終り授業を開始した 會係まで、申込と同時に會賢五ラブで主催申込は地方事務所社の時間短」と題し共に滿緩と

取費の減増を初めとして各項目と居る、而して外交費を除くの外陸

値 馬車賃

0

・ 授業は九月一日から開始 ・ 授業は九月一日から開始

始かけ

0

奉天以北の選手集る 野球團來征 光照テームの楽征な

三項目が 朝に加へられて の大増加であると

早大の

剣豪を邀に

永安道場で熱戦

三十日午後三時から

過長安率線急行にて朝戦郷由國朝。電と群綱打合せの爲め二期間の電管と群綱打合せの爲め二期間の電管とれ、十七日夜

切ずし披露 長軽東一縣 ・一般の学額で二週間すべての配食 ・一般の学額で二週間すべての配食 ・一般の学額で二週間すべての配食 ・一般の学額で二週間すべての配食 人口ご戸敷 表る十七日の牽撫統院配道大会に 支援を加速を設する事となり職策の オンバーは東部観道界の戦撃大震道部を返 て大態度を滅する事となり職策の マンバーは次の如く確定した 早 大 軍

参四者九十名 ・主品評會實際發展式は十九日午 前十一時より行はれた、學會者九 十名、開會の部、式廠、能查鞭告 中の答師あり所會、式廠、能查鞭告 等の答師あり所會、式廠、能查鞭告

七月末現在

長裔紫管内七月末現在人口は三萬九十二百九十二人、戸敷六千八百六十六戸で、その内長裔の戸敷は六千九百十二人、戸敷六千八百六十六戸で、その内長帝の戸敷は

料理代値下

不況益々深刻

▲長春 戸敷六千九十四戸、人口 日九十八戸各地別の細別左の如し 百九十八戸各地別の細別左の如し 哀れな不景氣の犠牲

長春料理店組合の鑑賞給花代館下 で下げたからと云つて別に景気づけに内輪で疑いであるかと思いであるかと思は が二十個下つたから一騒ぎやらう

△大將五段佐藤 △五段河部 △四 撫 順 軍

在留邦人の望叶ひ

御堂建立に決定

十一月中には竣工の豫定

育村五郎瞳土 市毛正平

健康並びに就任挨拶をなて管 位常理事は月末頃來撫炭礦部現況 實業界

を開催し正期會頭及び常額員を互開原實施會にては十八日評議員會 役員決定 會頭は川島氏

子 窩

開原警察署長前田信工氏は十五日開原警察署長前田信工氏は十五日

前田署長叙勳

で二十二日午後三時より地方本務で二十二日午後三時より地方本務で二十二日午後三時より地方本務で

原

開原神社秋季大祭も感々終った 秋季大祭協議

ではカゴナ名の携箍に配心してる 常日は金藻に織く家の者 玉木氏に常日は金藻に織く家の者 玉木氏に十人掛りを行ふといふので相撲部

會部長中佐綱(旧) 大十雄氏は二十三 日子後七時半より全會堂において 「人生の鮫路と活路」の演題にて

廿三日舉行

整川和荷分重所開原寺の個例秋季 として小供柳撰と職頭を事行する として小供柳撰と職頭を事行する として小供柳撰と職頭を事行する 数世軍の講演 数世取称

角力大會

廿三、廿四兩日

二人以上は髪分増加 一十続にして

四平街

秋季大祭の

配房店警察器にては瞬を中心とし する事となった、大陸五銭域一と なし神社へ入銭、支那領へ入銭、

いや、安猷さんの代配には、

10

夜は麻布の私邸へ職が、破務の忙

でな否めない事實であるかも知れ と別見する。そこにも巨僚上り と別見する。そこにも巨僚上り こに老獪な安遂さんの姿が浮んで くるといぶ人かあつたら、それも くるといぶ人かあつたら、それも

な電機を見せて上げませら」

た性格があるのだ。

現内閣を背負って立つてゐる力の際な洗賦から踏み出る。そして、際な洗賦から踏み出る。そして、

ちょつと、いゝ気持らしい。これな翻をするかな」

まざくと見た氣がした。安達さんの呼頭を記者は其の時。

待つてゐる電へ自分で入つて來て な人は少い、客は必ず或關まで自 な人は少い、客は必ず或關まで自

华面が内相を家庭愛の人

るが、一晩酸れて按摩を組んだ ものだ。ところが、その按摩は ものだ。ところが、その按摩は だが、揉みながら旦那の頭は大 だが、揉みながら旦那の頭は大 きくて大腿な好のいゝ頭だいん がやわしの名前をいつてやらう かといふと、イエ名前は関かん でもエラクなれば判るからいゝ といつた、面白い按摩だつたが、 をいったと、イエ名前は関かん

人通りの多い膨下で、安潔内相になってもあると、永井側太郎君が立話をしてゐると、永井側太郎君が立話をしてゐると、永井君はステッキに不自由な一足を変へ、はのの通り反り身になつて、しかも前の天ふことを「ウム くしと背がなったを繰してゐる母歌の変だ、まるで、はかれられ、情まれてゐる母歌の変だ。まるで

「わしは食道樂たんだ」といふ をして家へ歸つて。夫人の手料 理に舌骸を打つのである。が、 地ふと「ヘムエラグスが好き」な のださらな、安遠さんの土臭さ が思はれる。 が思はれる。 常温はれる。 な。そこに安遠さんの風格があ な。そこに安遠さんの風格があ な。そこに安遠さんの風格があ な。そこに安遠さんの風格があ な。そこに安遠さんの風格があ

選子はその様子を

明るやうに、

野田総事はそれでも**殿つてるる** 育定するのか」

「おい

経田君。何か言はないか

成子の言葉が興賞であるためであらうか。

では千家籍職といふ假名のもと 表では検事を装ひながら、その裏

それもこの人です。蛭田 紫影でに、歴帯の酸スを重ねて來たんで

人の時

安達さ

んの

人間味

傾顔を描

(IV)

見た、ある

ある場面の瞬間の印象を思

会などることを一つの製しみと

ほどの者ではないが、 典師、数字的に見て必ず

大学 で、私は之を総議書 に毎日つに は 100 を 1

に毎日つよく戦楽車では完全に就では戦闘まあつてしまった。ことでは戦闘まあつてしまった。ことでは戦闘まあつてしまった。ことでは戦闘を対し、 カー

熟時は熟殺す

ELIC阿片も吸はせ影響もやらせるといふのに反し附属地内では左様ない場合が利かぬためお客は附属地で、最初の勢は何慮へやら今は健して、最初の勢は何慮へやら今は健康を表示した。

離して、ちつと減子の誰を見詰めしてゐたであらうか。彼は興意な

てある。別に抗議を申込まうとす

いや、彼も口

肥料であるが、情粉と混合肥料と配合化料であるが、情粉と混合肥料と

と行った。

れたが、まつたく午中でも合演の 欲しい日もあった。行く先々の宿 とでは、火体が切ばへきまって対 火をどつさり持つて来でくれた。

冬の憲蒲圏を二枚もかけて

て見た夏夷地の印銀をスケッテし で東野戦を眺めながら、初め は、今秋はその勝りの途中、後中 で東野戦を眺めながら、初め で東野戦を眺めながら、初め

居るのである。

訪ねて

機樹支局

者

正に阿片も受はせ影響もといれる場所地外に一軒同案者が出来で、別席地外に一軒同案者が出来で、

新臺子を

海で・疾に支那臓は全く意気が大時 夢には敵はず、国在は正に整伏時

[三]

敬郷出のお百姓総手に三、四人ラ 年支那の女馬屋が三軒出来た、特

あるが、一切時のでは、環時ので

海

盛夏印象記

機構温泉にて

大野

質によく配通った 関連火のやうに、

風呂の中に居るやうで、

が、北海道は原しかつた。

で、 大阪から階級、 は盛から胃療、以。 は盛から胃療、以。 は盛から胃療、以。

の原物を、その産地に於て、面も 株に注意すべきは服骨は資産工 株に注意すべきは服骨は資産工 の原物の一位と推照したい で、之に関 はつて、他の勢力を利用せんとす。 なって、他の勢力を利用せんとす。 如き苦労の多い無長な經歴では、 のをもせず、世間が世間の冷 生させた、私は向井君が世間の冷 生させた、私は向井君が世間の冷 なを基礎附けたと思ふ、多少の機 には、 からつたにしても、君は確に満 なを基礎附けたと思ふ、多少の機 つた。

(四)

蓋工

一業界の

貢獻者

[**H**]

即ち鐘徹に

故向井君に開する追憶の數々

すると、 新歌子に親出すれば里敷は大豊な 歌子間だけ観は良し、駅間は機能、新 歌子間の運覚は後等が一日や二日 での市場で夏瀬(にならない、更 をおると二、三日も福禄で、 野だから朝来て豊までには西談が、 野だから朝来て豊までには西談が、 野だから朝来て豊までには西談が、 野だから朝来て豊までには西談が、 野だから朝来て豊までには西談が、 野だから朝来で豊までには西談が、 野だから朝来で豊までには西談が、 野だから朝来で豊までには西談が、 野だから朝来で豊までには西談が、 野である、 日本には西談が、 日本には古述が、 日本には古述が、 日本には古述が、 日本には古述が、 日本には古述が、 日本には古述が、 日本には古述が、 日本には古述はは 日本には古述が、 日本には 第する、それ等も亦興つて力があ 出て來て合資組職の下に積極を開 出て來て合資組職の下に積極を開

質オー 年頃が絶頂で支那人だけでも五颗豪子特重界の全線時代は一昨 オートバイ

松浦自轉車商會大連連網商店領榮町通り ラーレー號 電話八九四八番

居合す一同も口をふさがれたやう 感覚はびつくりして聞き返す。 「ナ、何を言ふのだ。あなたは無

野田検事が千家 無魔であらうと であらうか。この有名な鬼蝦夷、 であらうか。この有名な鬼蝦夷、

「千家 簡階はそ こに立つて 剝が

蛭田検事ではないか。 と選子が指したのを見れば、こ 警師総監は呆気にとら

-あの人が即ち干家總暦 の人ですり 競事蛭 れて聞き 態態が川現する管です」

おまだ口をきかうとはしない。 とを見較べる。 照田織事はそれで 「一體そんなものを何處で見つ へんはざわくとど あの暗い隧道の中で捨

れた假面(人) らとつけ鑑を此人につけさせてごらとづけ鑑を此人につけさせてごら

川亂步作 久造事 (174)

です。あい何といふ恐ろしい事で人も河内兵部の子孫の一人なんで人づい殺してではっと決心したの人が、飛撃になる他の子孫を一人がいる。

在中區車電町港信市運大 番九五八四話電

皆さんは先程、千家

んな馬鹿なことがし

に、無官のまゝ酸を見合せてゐた。その、ある人の子孫なんです」 ト来たのです。この人は隧道の中でとつて、もとの蛭田紫影になりをとって、もとの蛭田紫影になり て形魔になる人を片ッの遺産を覘つてゐたの 「ある人?選子さん、そのある かっこの人は、

その時である。 見れば、紫色の酸に、きつと、 見れば、紫色の酸に、きつと、 原をかみしめて、その手にはピス あい、彼よ窓に自由したのた。

▲衞 初秋如於男女美髮 美味と保健と經濟を無ねた新研究發表 示

萬人當選大懸賞大寨東 復興债券 等まで優秀賞品澤 集 業 美術組立鏡 錢 (三錢五厘) (五圓券) 等拾名 4 大日本雄辯會講談社

介說姉

品、切に一臓をするむ

つる(主談) 菊池

▲血色をよくする食物の心得和の知らればならなられる。 一僕に家内の此點が気に入 衛生的なお産股引の拵へ便利で經濟胴無し襦袢作りお産の前後と愛見の育て

わかる、禁し 石谷兵九郎 倉清太郎 (直岩崎 道 特專 許賣

▲初秋向型ス

●いつも若々しく添私の工夫(腸型)●夏合から里歸りまで新郎新婦診監●夏合から里歸りまで新郎新婦診監●変自慢然着物と帶の着こなし方際 代身嗜みの経資料! 編為方 名流婚人の打明け話

人 大 大 大 四 の 響

諸推隆ノニー 東知ノ霊山赤松菜 東外ノニー 東外ノニー 東学リニー 大臣名士方ノ海 大臣名士方ノ海 大臣名士方ノ海

和裝美洋裝美大畫報 人になるまでのお化粧 語 體 を驗

風等線々な扮裝をこらした化粧着付の説明つき大寫實電子さん、栗島澄子さんが、今鷹、奥様、世話女房、

美人

呪ひは感謝に……感しみは喜びに……失靈は希望に ……しまひました。 僅か一ヶ月半ばかりの間に、私の人生順は全く一便して私は立派に階病を征服しました。 たうさせたか?

7

五年十一月下旬新聞紙上にて

イマット派化粧石蔵 イマッチ派化粧石蔵 イマッチ派化粧石蔵 ルカルコ

答案の出し方

題

一致とりは、何故 (二イマツの燻焼器で 効力があります

問

金錢問

手入法諸名家院験

面的くはになる名士

香味百倍保健卓効

明

松葉製小楊子

が、とにかく間隔に備んでふら をなるでせる。 芳 迷る をなるでせる。 芳 迷る

服しました。

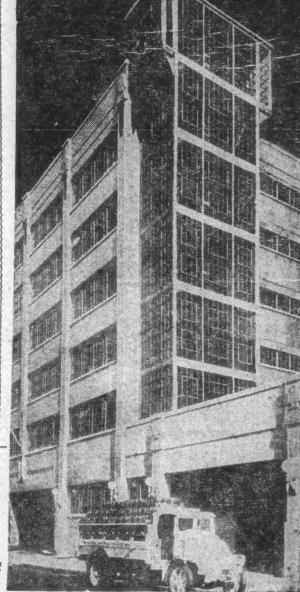
(五)

百

▼・・・健康 を回復しなけれるる。、簡へは病氣の身に強いと近代人にある。、能へは病氣の身に強いをしたが見る。。 一般の生活状態をある。 一般のは水を飲んで熟をでいるものは水を飲んで熟をでいるものは水を飲んで熟をでいるものは水を飲んで熟をでいる。

働きに外ならない。 其他すべて水

忘れられてゐる



展望の出來る エレベー 9

八年

五

眺めを恋にしやうといふのである、何んと名案ではありませんか。 ーのケースを建築物の外側に設け外部を全部館子融りにして引つたり降りたりする時に外のでは此の寫真のやうに脱獄のきく館子融りのエレベーターが流行り出した、即ちエレベータ全然快味を伴はない、それは荷物車のやうに展謝がよいからである。ところが最近アメリカ に到達すること以外に脱弱による快味がある。 それと同じやうな氣情ちをエレベー なつたことがない 無持ちをエレベーターで味はせられる、汽車、自動車に乗る場合は目的中と思ふが…)乗つたやうに、陰氣でそして混屈であるに相違ない、秘鑑はと思ふが…)乗つたやうに、陰氣でそして混屈であるに相違ない、秘鑑は としたらどうだらう。それは恰も影動列車に乗つた神事や電車や自動車などの乗りものに若し窓がない しかしエレベーターには昇降すること以外に

水の醫療的効果 水は副作用のない最良薬

最近置いた米國の酸育難部にヴ オレーボールの新らしい機能法と スよのが出て居る、その序記にこ で普価的一般的性質を帶びるもの

▼▼…促進 を配るのである

であるといふことを力能にであるといふことを力能にであるといふことを力能して居るの主旨と不思識な整一致して居るので特に面白く頭んだ。 の歌手に其ゲームが歌占されて行 現在に於けるスポーク及びゲー 近完全に一致したが昌め、有らゆ がアスレティックスの思想とか最 びアスレティックスの思想とか最 がアスレティックスの思想とか最

である

旅大道路突破

夜行記

(E)

つて行くと云ふ歌である、之は如ならば龍力的貴族階級の諏站にな 内容とするに到つてしまつたまでたちない。 である。

0

窓に龍王墳に到着した。

0

7

近藤重

克

は百靈の長であり、交自然の他社 大である。消化不良にせよ、能な を放野に歌習に神經癖に潜らかな 生水を飲む事によつて百甕に勝る 下足は必ず健康を寄す、夏の愛院 た郊分に水を振らぬと水分跳之に

質の健康育と云ふ思想に没交渉に任せたらスポーツはその本来の性 家庭で出來る 和洋菓子 うどを入れて窓こみ、味加減を 見て皿に盛り、パセリをふりか 0 製 法

3 郎

古金

◇錦玉羹

料材表表三本

香料隨置

「叔父さんと終母さんはたままごれ 大郎さんと終母さんはだらしたのかしら? の中に入れて火にかけ沸騰させます更に砂糖を加へすつかり溶けましたならやはり裏漉しでごみを或したは含れいなふきんやうのものしとはされいなふきんやうのものしとはされいないまかです。更に火 # でたらして見てスーッと引く というになっぱ結構です。更に配合ので味をつけ食料を見て出てのではではでいるのではないは、三寸の長さに引くや がらいないは、三寸の長さに引くや がらいるでは、一切のでは、一切では、一切のでは、一切では、一切のでは、一切 合には歌と脱歌に一致せしめる事で切ります、この際香料がストロ **小用** 品親切本位質受 町渡邊商天の電社員等はい

見つかりません。

れましたが、

似父さんの姿はどこ

まれくて符合所の方に押し出さ

太郎さんと訳明さんも人彼に様

便用前お緞に取りだし水六、七合恕天をやはり一夜水につけて配き

鈴木丈太郎電話四六九二番

電話三〇四九番

販賣店舗津町赤羽電

高記明書進

病はラジウム

温炎治療

薬及治療

板の上から岸脇の群窓を眺めまし

大連『場隣根本襲司電ビへ六二 鶴見 高水丈太郎 電話四六九二番 第大連二葉町六〇 魔町六九 電話八二〇三番

ける事が出来ます、更にエフセンたものもます。 たものを苺葉、レモン製と名様づ

特代、平常なら心地よい膨脱に落め中に長くつき出た織、此處海の中に長くつき出た織の如の海水が大磯部かだ、殿に織の如の海水が大磯部かだ、殿に織の如の海水が大磯部かだ、殿に織の如りに長くつき出た織、此處 ちてゐる時分の 月は相乗らず澄んだ色で下界を つた。現れはただ次郎々々に増して来ればい数の増すのに元氣を付けて不知を付けている。 自動車は長いく、餘韻を建して去方から來て、邊の鬱寂を破つた。

機のつきる所で十七軒の石標を 関にひどいが現機をして近く。 関にひどいが現機をして近く。 虹のオーケストラはまだ止 時五分! とスポーツの一致 との様別は、時に八月十日午前一 出た。何か白い物が立つて居る。 服して見ると大連管内と旅職管内 との様別は、 間に大軒位の割合が

の趨向

體

出現

0

で で に ない 事實である。 か

育

體育术

で続り漉しをします アを加へ、照胡椒味の素、葡萄

◆うどのトマト歌

マ…林特――らど二本、味付トマトソース一合、ペセリ少量トソース一合、ペセリ少量をむき、竪に割り、水につけた変をむき、竪に割り、水につけた 上八下六、四个 務所山縣通入八坪數三五 市出縣通入八坪數三五

小口 の五 米島街二一大七八利安く見も永く

信濃町市場市 電五二九三番

牛乳 なら大正牧場 八 五 電話七七七二番 九四八四番 八 五番 九四八四番 牛乳 牛乳 パタークリーム 電話六一三四番

等海町会府炭場前廳兩館電影完 合百事吟機永滯在倚勉端 高車夜具共月三十圓の织

宿

大通西公園町二〇七 紅 葉 館大三九七 製備完備眺望絕佳電車便

院を開けた。トンネルだ此度は電 がついてみない。 健能だっ 何か中に居りそうで 無持ちがわるい。 神に居りそうで 無持ちがわるい。 中は 顔を やひにれても分らない 連な暗器。 幸ひにれても分らない 連な暗器。 幸ひに 過は虹の雪もステッキの雪。 覧にる者、双光に行く者も無かつた。 を三人の間はともすれば沈い 後三人の間はともすれば沈い ないらい。所す元率もないらし **連は虫の音も** 又無言の進行を續ける。突然物 長い。出ると蘇生の感がした。 中々 たので照らしながら進んだ。 さびしい。 鎖は窓に山に黒い れば沈默に陥れている我 ・ 選倫 - 魚を元団位にして ・ 選倫 - 魚を元団位にして ・ 選倫 - 魚を充団位にして ・ 選倫 - 魚を放して弱火にかけ鵬が概をふ ・ 一寸角位に切り戦かに茹で、湯 を流して弱火にかけ鵬が概をふ ・ 一寸角位に切り戦かに茹で、湯 夏向料理三品

答し、サラダ油を強少量入れ無 勝山洋行

馬鈴響パセリを盛り躍へ、鷹かき、薫返して充分爛き皿に盛りを並べ入れ、狐色になるまで樹 ソースをかけます。

刀劍

名刺 スが田米ます

プライター 町田 一部 野野

小寺藥局

康木

七字、スープー合、脈が版、味の素少量、月極脚の薬二枚、 電の薬の量 小変粉スープ匙一杯

英文 及邦文タイピスト生短期 大連市大山道 小は又七々店 北側電四一〇八 英 攀 會 配人及クラス 教授區等受 會

金

小口 旅館

吉田電五〇八三 習字 右古景館電六三一一局便利但價格は勉強

地内電八六七五番 話四六二七番 蓄音器修繕は

東門のヤナギヤへ大連市浪速デベート内

ホネッギ 石井家畜病院

太陽等ジ

マホ

實印

別府治林葉は腎臓師の風帯なるを大連市監部通東郷町角 電話儿八七四

設備完備 ・デオ

の現状が將:それである。 それである。 ロペータドフ 看 林 ツッ

古本領報

古本

家傳

ヒシカワ類局

中部品付入五脚より百五十脚迄 五式 ニュトロダイン

新電

まぬ。

益人肉體的資族主義の傾向

十級等の政府五

白帆

賃衣 裳

高 東 大連湾賃館整 を 電話三五

橋寫眞館へ養夜撮影及母な 伊勢町一四番 原眞の領用け迅速で銀

古清 古道具高價質を

や電六六〇一番

此印に限る

治等一切は 電六六八四 電六六八四 印書 印書順需 印

小林又セ支店─◆到数次注◆

皮

沙尿生殖思病 病(粉鍋

濟生體院

歐マツサージ院 安信會 大連市吉野町二五 性病。整件

濱屋釣道具店 日一圓 り三割安卸並小

から吐き出される黒い煙は割かな 関ったりしてある出迎へ人の頭の上に膨く勝きました。 「似父さんが迎へに來てるないか」か懸だしい業客は緊ਆのやうに船上に聴く願きました。
そのうちに船は岸に慌づけにさ

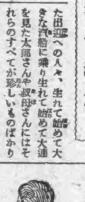
地へ入りました。 が課子を眺めました。 が課子を眺めました。 大きな声船が幾艘も幾艘も横づ大きな声船が幾艘も機ではさらにけにされた大油の穂、忙しさらに でした、 でした、 一門船は中臓い戸筋の骨を魅っぱい 船客をはち切れるほど薄むした 船客をはち切れるほど薄むした

「叔母さん、やつばり叔父さんは「叔母さん、やつばり叔父さんは

やがて符合所には人かげも少く

他外で検疫が終ると船は静かに 潚 雄

れらのすべてが珍しいものばかりを見た太郎さんや叔母さんにはそを見た太郎さんや叔母さんにはそ



貌八十二百七千八第

(日曜金) 幸投

满

アイフ楽價 黄龍用特製

するも覿面下痢し痛みの重症にて痛みはしく便に血液膿汁を混じ胃癌又は腸結核腸潰瘍等の疑ひある危險

延には是非ともアイフを服用せられよ。アイフは内服と同時に其の主薬は腸胃内壁に於ける糜爛面に附着

吸收を住良にし健康を著しく増進せしむるの効果を有す。

粘液の分泌を減じ腸の蠕動を制し下痢を止の痛みを鎮靜す故に食慾を進め體

司

炎症を鎮め粘膜を強出にし

(Maddingen核三角)

屁多く出でゴロゴロと鳴り 慢性胃腸病にて從來種々の藥を服用するも効なく外觀には左程大病らしく見えざるも胃腸内壁には恐ろしき 元氣衰へ顔色悪しく神經過敏となりの肺尖肋膜に故障を起し咳や熱出での少しの飲酒や不消化物を食 れを生じの食慾進まず胸先落へ唱つき嘈雑出での下痢や軟便にて便に粘液膿汁を混じの腹はり放 胃酸過多症にて食前食後に胃部痛み滋養物を食するも身につかず身體衰弱し

東東特電二十一日登』内限統部
る人口が底統部はこので配く全
の大力が底統部はこので配く全

數は四十九萬七

板をもつて錯

式に組合せその上を属

佩で包み外部をコール天布

高員券

製造機では特

脱鏡中であったが今国蘇興のやうた防災、トルまたは短げで斃れる警官が年々増加す

視廳がヤッこ完成

お蔭でお巡さんは大喜び

用チョッキ

で防弾の

おめでたが減り

離婚が増加した

死亡率は歐洲諸國に比べ高い

わが國の人口動態

無罪確定の被告に

國家から保證給與

刑の執行又は拘禁による國家賠償法案に関し小原司法大官は二十一日の大官

態よ來議會に提案

で計上するは込みである 「数に對し一日五圓以內を支拂ふもので總額は日下の處剣然せぬがその強家に当し一日五圓以內を支拂ふもので總額は日下の處剣然せぬがその強家にこれに對し刑の執行又は拘禁 - 依る保證給與に關する法案である。 「次はこれに對し刑の執行又は拘禁による賠償制度は來騰會に提出する事に決決されたる刑の執行又は拘禁による賠償制度は來騰會に提出する事に決

コノミビスケット

支那保衞團

匪城で衝突

人を以って組織、勢力供給

に公面せらる」ことしなった

東京廿一日韓電通 九州太刀 大陸戦飛行祭四般際にて御職門下は廿日を中なりし狭父宮町下には廿日を中なりし狭父宮町下には廿日を中なりし狭父宮町下には廿日を中なりし狭父宮町下には廿日を中なりし秋父宮町下には廿日を中なりし秋父宮町下には廿日を中なりし、殿下は町町のこと」なった、殿下は町町のこと」なった。殿下は町町のこと」なった。殿下は町町のこと」なった。

「東京廿一日穀電涌」目下那須御用町に御器在中の皇后は

一木宮相より上奏

侍吟頭、嬴后宮大夫。侍從長等打合せ上窓の上近く■見ついては二十一日一木宮相勝須綱用邸に伺候したるを以

うき

0 2

山通所見

ものや折角着手しながら中止のや概葉を変の計解ばかりで未着手ので未満手の

も一数能をしめてあるが にか叫谷の朝日館、大部 はか叫谷の朝日館、大部

る日本劇場へ政密局

大森の一般では、大春の一般では、大神の一般では、大神の一般では、大神のでは、大神の一般では、大神のでは、大神の一般では、大神のでは、大春の一般では、大春の一般では、大春の一般では、大春の一般では、大春の一般では、大春の一

一度高の 一銭入屋といふの件領攻び額の勝係から更に

して出場すると

も全く回復したので一同め勝を排

大阪の総督で傷めら

義務貯金利下で

萬四千圓の損

着鵬とすれば日歩二厘の引下げは預金總銀二百萬圓もあるので預金

指定正隆銀行から交渉に

お役人様大コボ

金に終ぶれば利泉も手間もまだまであるとこぼしてみんが、他面動便所なのとこぼしてみんが、他面動便所ない。

以上を天々定つて預入す の関係の関めには頗る有職 を期預金であるところか

日下の低利時代にも拘む

金に至って一種の一種の一種の一種の

て段標き預入する機械である。これも除機ないことであらうとい

だぐつとよいのだからまあ時間



別兵や失業者を かせる。星櫻會 満洲における邦人勞働の試金石

の設立方を出願中の影響など人脈響し その成績注目さる

飛行中の

陸軍機

接觸墜落す

皇后陛下御慶事 近く國民に公表 常せる在郷軍人共働館を減刑にも

所においては何をいふにも勢力 をだからこの努力事業が何處ま で成功するかはや」不安に思は れてあるも右出願者は蟲の臺灣 れてあるも右出願者は蟲の臺灣 の日本電鐵の型しやうといふ例 の日本電鐵の型しやうといふ例 の日本電鐵の型した。 の日本電銀の型立委員常任幹事 の方面には何れも相管の經驗を の方面には何れも相管の經驗を の方面には何れられば、同多 の方面には何れられば、同多 の方面には何れられば、同多 の方面には何れられば、同多 の方面には何れられば、同多 の方面には何れられば、同多 の方面には何れられば、同多 の方面には何れられば、同多 の方面には何れられば、同多 の方面には何れられば、同多

一機は奇蹟的に着陸

不況に喘ぐ

館も暑さのために客は減少し殊に、東京特徴二十一日が
『東京特徴二十一日が
』一時不默

■ 東藤龍 画面にしてその総額は賞した。 ・ 本質のでは現在既に警察官の分だけである。 ・ 本質のでは、 ・ でも百餘萬面にしてその総額は賞してある。 ・ でも百餘萬面に関係を発音があしてある。 ・ でも百餘萬面に関係を発音があしてある。 ・ でも百餘萬面に関係を発音がある。 候に十餘萬國に遊に及び、一ヶ年

本た、ところで正鑑銀行では右下来た、ところで正鑑銀行では右下来た、ところで正鑑銀行では右下来た、ところで正鑑銀行では右下来た、ところで正鑑銀行では右下海流線をなすものであるので、一方母に催む、必ず各目本網の一門の場に催む、必ず各目本網の一門の場にでい、必ず各目本網の一門の場にでい、必ず各目本網の一門の場にでい、必ず各目本網の一門の場にでい、必ず各目本網の一門の場にでいる。

「東京特電二十一日を】 ふ午前十時岩手縣代表と 全國少年野球大會

五十テームの鑑大な 中前十時より岩手■の経営小圏校 たと、なつたが、同日もし朝日校 が右の一殿に勝てば引護東京校並 が右の一殿に勝てば引護東京校並 が横、佐賀師職附屬小圏などと

入連朝日小學軍

本なったもので、乾大は前川野名 は野(佐野)となる模様で起訴は今週 は野(佐野)となる模様で起訴は今週 をごろから強制が東の模様である、な は部訴後は被告の一筋欄に行かぬ ところから強制が東の模様である、な ムすく三十萬圓を罅に振るこ

下三微街の起訴は今明日中に行は電につき総議した此の結果党氏以 安心とで与られる 次官、泉二刑本局長、鵬野検事正【東京二十一日發電通】小原司法 今明日中に起訴・

が出演して盆に適はしい江州青頭時間前納京場では廿一日夜より間前店前納京場では廿一日夜より間前店前納京場では廿一日夜より

ち



場 馬



室料値下謹告

平此上共一層御引立の程切に御願申上ますで上共一層御引立の程切に御願申上ますで、酒等從來の約二割の値下を致しました何に順應しまして將又御家庭の延長として御奉慰安所として將又御家庭の延長として御奉慰安所として將又御家庭の延長として御奉を厚く御禮申上ます就ては皆樣の御旅行のと厚く御禮申上ます就ては皆樣の御旅行のと厚く御禮申上ます就ては皆樣の御旅行のと厚く御禮申上ます就ては皆樣の御人を問業以來日增しに隆盛に相向ひました。

の選手達は何れも元極氏器でありの選手達は何れも元極氏など、機関を収めるあってある、腕目校となる。のである、腕目校となる。のであり、変異などのであり、変異などのであり、変異などのであり、変異などのであり、 乾新兵衛氏ら 起訴に決定か 鹽野檢事正小山總長と懇談 起訴後は强制拘束

侵文社松

につき態酸した、事件は乾氏が渡過行に繋げる原面百五十萬国の代物解落を受けながら巧みに誤喩化して渡邊破産財派に百五十萬国の代物解落を受けながら巧みに誤喩化 安部氏講演會

大学校に於て「家庭遺總の危機」 大連市主催の安部機雄氏精液質

修繕を検験された自動車を試選駆 すべく主人成房セオエへシを乗せ すべく主人成房セオエへシを乗せ すべる自動車のヘッドライトに操 を終り型傷質三丁目旅大道降分 の電柱に衝突、電柱を根元と りアチ折つて自動車を大破し成局 電柱と鉢合せ町三番地試運轉自動車市内信機 職を負はせたが鈴木は無免許

四の講座 大油民政學、大 連市社館製、清線地方線融合の母 の講座は七月十八日開始以来四百 名餘の陰聯者があり頗る熟心であ るが、二十二日は婦人と歌書に記 で大連単り競長権徴介氏の誘賓 紙 各

スポンデ野球 間

滿洲發賣元

大連市播磨町一一九 谷 WALL DOOR TO 洋

名のため人質として拉表されたととのため人質として拉表されたとと、長春特電二十一日数】二十日午 大連實業團 警官急行 次戦 野球試合 と続きりみを迎へて底球膜を行ふ由と続きりよる。選続は、これでは十二日午春、小崎子響底球・しょでは十二日午春、小崎子響底球・しょでは廿二日午

援馬滿洲日報 は左の如し 大連病院六――十用度平務所 孫電經理職九――三工親タラブ 全浪速町四――三工親タラブ 賃業グラウンドで 五十錢、二十錢 說明書進呈 屋上、地下室。即水池。

水槽。海東、東東水池。

ンB」を多量に含む甘露味噌 幸福の母は健康、健康の素は『ヴイタミ 特許甘露味噌二名胚芽米 一瓶三十個

日本 世界各國酒類 荷新 干文く化す 七 名 東京風菓子謹製 ず龍素素 凍豆 Z 麵 麵 筍ケチャカ やさいみりん漬 松茸とハンペン阪物 そ ツァブ楚 大連大山通 20

仲

点

淳一 重作

3

月

傘

五

工合だつたから、知識は率ひに穴。 このであたのを、有田に何の贈りな しに既を搬出して製器れと云つた のであたのを、有田に何の贈りな に成を搬出して製器れと云つた。

をには、また、方々に手懸りが出 いない。と、云つたつて、君の身に に地の寒いのに、朝戦くから中まい。疾 がや、とても堪へられまい。疾 がなんだして、その残ら、麻原 がなんだして、その残ら、麻原 が出 がなんだして、その残ら、麻原 が出 がない。と、云ったつて、君の身に がない。と、云ったつて、君の身に がない。と、云ったつて、君の身に がない。と、云ったのは、 下で、それは無謀と

有田は思う云ふと元無よく笑った。そして「ちゃ、また」と云っ

女間に一通の手紙が投げ込まれカタリと音を立てるものがあった

その時だった。製の服用の方で

手紙のぬし(こ)

あれば入りたい思ひだつた。

つけながら・・・・

た神脈は肥いでゐた。洗ひ晒し いてみると、あれもあの花村が君和寒は、もう牛乳屋の前間の入一…と云ふんだが、あれを後から卧

さへしてくれ」ば、 と、云つて、有田は敷馬に火を かね……一概に、も一度相談 も、何うにでもなつたんぢ 一度は一寸失 て、類の熱くなつて來るのを難り、他も思はず、テラリと、ある心 うな観線を後に送った。 端を出されたんだっても

「ねえ、君が何も悪いんぢゃないんだ。たた「浮飛」で酔ってないんだ。たた「浮飛」で酔ってないんだ。たた「浮飛」で酔って

▲月刊堆順(大月號)(定價卅續東京 編東 在蘇通同計 2000 (定價卅續東京 編 2000) (定價卅續東京 編 2000) (定價卅續東京 編 2000) (定價卅續東京 2000) (定價卅額票 2000) (定價卅面頁 2000) (定價冊 2000) (定元 2000) ▲商業世界(八月號) 小量間度の 解來(桐畑白幣)等(定價卅銭東京編 本再確(八月號) (定價卅銭東京編 「市本村町某社銀行)

変棋家の福音

阿波國端流大連支店

更の匙加減で、何らにでもなつた ・ 関係大人の収倣しやら、みどり女 ・ では、また、其書は ・ では、また、其書は ・ でもなった

に惚たのが君の以戦さ

原株文章社大道出場が 市山駅地一五三 市山駅地一五三 市山駅地一五三

(競行所·東京神出一丁目線

假に何の願りもなしで、緊がくれ思ったんだがね。何にしろ、君が

んだらう

僕は後になって

をやつしけたんだから…

すよ。安く貸してくれました…」「まだ、この間からなんです。丁

いって、現る所、今の敵の口の方で、もう過去のことは過去のこと

「え」、僕で聞に合ひますなら…

解除感ぶりを治した。

があつた。

できる。中国のりません、あのできった電源道ひに、後は一所中国なされた。 中国のりません、あの

特は全く貴方に合せる誰が無かつ

投料金五圓也

んだね?ちよつと、また、観知さってさらして、何時から比喩に来た

有田は絶えず郷草を働らしげ、、其席、此端と物彩らしげ

日

M-247 (作物度等) 発除福祉場の一 りでなく するばか 知虫は榮

● 希腊切疹漫變所 ツーリスト・ビューロー ツーリスト・ビューロー 大連伊勢りを内引(電立五五四) 同大山瀬出泉所(電七〇三四) 同か何ロ東東洋行内(電九五〇六) 高中海河東東洋行内(電九五〇六) 高東天東内所(電二七六) 長春案内所(電一土一四) 長春案内所(電一土一四) ・新船切符版末所 中東時出版(新山丸 九月五日 中東時出版(新山丸 九月五日 大阪商船戦大連支店 のみのコバタ ぶくされる! は三日目で威 れた!スモカ 目で一よくさ ダルでは九年 にありにあり 103.

中天莊 ●股額 而行(玄道)

旅順驛前

告

最高の味質

戰蹟說明者

明一二番〈御通知相類」度候配質説明者大塚崎治

が、人間を支配してゐるやりにな

大阪商船機武大連支店

京屬谷版 丸 二一 音 日本 写画 大連出張所大連出張所大連市山縣通電路 (三七三九番 大連市最高電路 (三七三九番 商

會

る祟代七で度一元火

音及本部

中の節は電記

大大大

「大用の外」

「中の一大大

「中の一大

「中の一大 商 會

三 近海郵船款出帆 ● 整果行 頭藤丸 人用生日 今令是別大面配口安。以 今令是別大面配口安。以 ,又是有一个一个。 の東方 松浦汽船城會社

宣兴

林疾に

胃腸を害るの

非大学主風呂崎 の1000年では、 の1000年では、

話 三六九五番 店商會友澤蘭 二町修道服大

夏は是 ○炎熱の下に於ても牛乳やミルクの様に、 ○変支の量を湯に溶いて用ふる故に全 く使用上の無駄かない、のみならずい つも新鮮であり つも新鮮であり 答し方(おおおを加くてうすめ用ひます) お来をコップに入れて先づ少量

店支連大店在卵乾 七六三縣山市二大

ラクトーゲンの御使用が第一です 何故?………ラクトーゲンは

頭腦。

愛用者即

NAME OF THE OWNER OWNER OF THE OWNER OWNER

0

金線サイダー製造元

官內留作用湯

愛用者

日下齒科醫院

るる 確何市 精田英一郎氏

溢。

ユニオン

張る力を

方複

の他を入れて全部で一千二百萬

減らしてゐる。

フランスには百五

等は十字架の下に離

殿って

十萬の悲しい失業者があ

多くの肚丁がフランスの祭伽刀を

られて居る

ところである。失製問題の中心は

国 七年(昭和二年)には二萬四千人るといふ失戦者を難した無敵があるといる失戦者を難した無敵があるなれられるにはあまりに早いけれる。 変地臓をよそにしてフランスだける 製地臓をよそにしてフランスだける がぶしい鍵をしてあるのは何故だる ちうか、——それには多くの理由人 がある、先づ大戦に依つて失つた

か右はフランスのピエ ども悪に角今日このなやましい失いない。 は凡を一千二百萬 七年(昭和二年)には二萬四千人人の失業者がある といふ失業者を擁した継殿がある といふ失業者を擁した継殿がある

が・ペ・ウの積極的活躍が、 一次動に全量してゐる者のう

郷へて十九日奉天に帰還したので ので、東せしめ十八日朝 総氏等は無野良氏に配謁してその 総在を見居け殿氏より賦省政府主 のでで、東行せしめたが のでで、東行せしめたが ので、東行せしめたが ので、東行せしめたが ので、東行せしめたが ので、東行せしめたが ので、東行せしめたが

全部逮捕 することを得た がため二十三旅は招富熊橋し不然 がため二十三旅は招富熊橋し不然 であるが で大事に至らず織定したがこれ ので大事に至らず織定したがこれ ので大事に至らず織定したがこれ

型も所も友好關係になる蔣介石上 を置られ今後の波紋の調がりが注 を置られてゐるがこれが認めに表面 がよれてゐるがこれが認めに表面 がよれてゐるがこれが認めに表面

整化を生 ずるであ

9

新艦艇建造費を

継賀定のはるびん丸主なる船客左司特電二十一口酸】廿三日大連入

だけ、共産土匪の前部、南京政府あり、直ちに取つて信用が出来ぬ

として安心が出來り。

米下院握潰さん

委員長フ氏の聲明

ける。モスクワ政府はが。べ。 ウェート政府の海外派消ゲ、べ。 ウの内墓をさらけ出してゐる でついて興味ある報道を茲に開 について興味ある報道を茲に開

不は全くゲ・ペ・ウの作者は全くゲ・ペ・ウの作質を有してある。 一九二八年に一名のここの警察官更がドイツとなつて一萬弗妻給されたいが・ペ・ウの手先は安いが・ペ・ウの作

ドを持逃げし行方をくらました 中を拐帶し、一九二〇年だ。べ。 中の代表ボクダーノフが五十萬 中の代表ボクダーノフが五十萬 中の代表ボクダーノフが五十萬 中の代表者が二萬 平千ポン ルリンの代表者が二萬 平千ポン

安財政の騎兵第一師長職澤生氏も大郎一陞落を告げた形である、選大郎一陞落を告げた形である、選が大郎一段を受けた形である、選が大郎一段を受けた形である、選が大郎一段を対している。

クワ雷局がゲ・ペ・ウの報道を あるのだ、この互額の金がどう かふ風に費消されてあるりモス いる風に費消されてあるりモス

百名以上

後國に散ばつてゐるゲ・ペ・ウを總勝殿して顕常な活動を圖始し、野趣感も飛飛は解釈の瞬際監視に極秋裡に組織されつよるとの<equation-block>で日本容地に随意な響原野を張つてゐるゲ・ペ・ウは世界日本合命中の 世彩譚人に依つて世界の 日来露人を網羅した反 ソウェート聯盟が「東京特電ニ十一日数」思想問題を中心として日露の國交はますく、複樂微妙を極めつよある揺れ、「東京特電ニ十一日数」思想問題を中心として日露の國交はますく、複樂微妙を極めつよある揺れ、

南京代表から手交

張學良氏感情を害せるに乗じ

北方派頻に暗中飛躍

一行 したなど感暖ぶりを感しが・

べ・ウは蜿蜒と使祭に全特務場闘を眺覚し順系隊人の日星際く会な

るものあり注目されてゐる

ゲーペーウの内幕暴露

駐佛露大使館員のべ氏

成民に警告したため十四日期版長 成民に警告したため十四日期版長 以下連長數名が蔣代石派に買收 された事件は野鸞の如く檢養駐軍 された事件は野鸞の如く檢養駐軍 での東北歩兵郷二十三族長期延載 は、警告したため十四日期版長

等の文武百醫部は事態を重大砲し 可合統世英氏等を飛行機二聚に分 可合統世英氏等を飛行機二聚に分 での文武百醫部は事態を重大砲し

くスターリン氏に反抗して續々退職しつよある隙に乗じて全世界に世命神戸のメリバンク支配人ペンリン氏及びゲ・ペ・ウ外國課東洋局長アカベコフ氏などの有力人物が窓路ベセドーフスキー氏、フインランド駐都商務官エルシン、ギャナー氏、バリ商務官マヌクミー氏、

ポロフ氏など三百餘名はスターリン凝凝政治と化してゐるソウェート政府中からバリの大使館豪事を光らすなどわが國は目下開系露人暗中飛躍の根據地となるに至つた、即ち亡命中の白深譚人テェ

〈露聯盟の組織〉

に着手

労農内部の

乘じ

ゲ・ベ・ウが嚴重に行動を監視

ける自然中に相當仲びてゐると

研究會の

常務委員

所版製成吉

時監察委員会を開き捕艇を行った 特監察委員会を開き捕艇を行った 月中に大綱決定し種來電部

奉天兵工廠が

館では新倉別に依り來る九月改選」を決定し全質真に推應狀を發送の一される模様である。『東京廿一日發電涌』貴族院研究 | 議員會を開き後任の新常将候補者 | 長を以てする特別で 關内奉軍買收費は

に行幸 島兵學校 月南太平汗に撃行さ

の職員の耐汰を開始してゐるが整 の職員の耐汰を開始してゐるが整 の職員の耐汰を開始してゐるが整 の職員の耐汰を開始してゐるが整

子爵議員補缺

彩行するに次し武時散命 有力能されてゐる斯常務員

蔣口直光伯、收吟忠篤于

共匪進變

九江危し

歌してから、小殿長フレンチ氏の容易には可抉しないであらうと後

組。路

第三番

デジレ

プラッセル王立書

保作館第九五編 丁

丁夫が一六

洋樂九月新譜第一部

【上海二十日英西山】九江來著に 八面はそのボカを江西の

ア氏はロンドン総理機管職機を振せるの際例をなした。大統領フーヴ

ア氏はロンドン

來月から具體案作成

ンの海政常局者も悲聴論に随き職との歌を後来より尚執してゐるの名の意態を反映してゐるものとをれがために莫大な。 腎の液質を良長フレンチ氏の際明は大統領 ることは至善の策にもらず、を良長フレンチ氏の際明は大統領 ることは至善の策にもらず、としている。

一千名を淘汰 不穩行動を慮り警戒 『東京二十一日設電浦』 最近歐米 である、オックスフォード大學 から二年間「磁増する日本人口」 を際「一研究のため派遣されたクラ を際「一研究のため派遣されたクラ 激増する日本の 口調查

歐米の權威續々來朝

ログデ

Columbia

こつのエテュード

2

人の

農夫

夫・「序楽曲

交

序 樂 曲 フィンガルの洞窟 メンデルスゾーン作 J 宍夏ー県

四重奏曲

傑作集第九六編

J尖元—二

イ短調

ツカー氏は二十日神戸から上京帝 満鐵實行豫算の 図を究めて特来日本人種が如何に發展するかの結論を得たいのです、研究資料は商工省・農林 上島、駅頃印度諸島等太平洋に沿ふた諸國の人種は既に研究済みとなつて居り日は既に研究済みとなって居り日は成成ボーレー博士を息へないと思ふ、折良く米國の機成ボーレー博士とも落合はれるので喜んでふる

鳴

第四番

丁岩二

ピアノ獨奏

女 ショオ グランカ

節約額決定

微の騎士―第二幕終結ルト・シトラウス作 丁芸元

二重唱【リヒアルト・マイル(パス)

重役會議はけふ了る ◆ 産業直舎氏(元鞍山渥美路院主) 検摩の高め十一日本社来訪 検抄の高め十一日本社来訪 検抄の高め十一日本社来訪 とま言うに(元鞍山渥美路院主) 院業や授の国め廿一日氏(元鞍山渥美醫院主)

日本コロムビア警音器株式會社

・ 詳細は何卒月報を御覧下さい

行十五名⊯村郊授に引空され廿 日清旅客機にて東京よ

再沙湾回の何難に宜傷の懸値が 大图

出せず、結局は南京からの援兵をの蛇ともいふべく、魯源でも手が

待つ外ない。

大 陈 唐 津 表 門 筋 吸着療法劑

與黨遊説の第一聲 ト氏は日本訪問のほめ本月二十一 局の打開が罷ましいのである。場を離れ、國民の立場となって時 各地の温度 中二日(南西の風)全一時晴 ら遊戯の第一脚を揚ぐ。 民政黨も負けずに、まづ東京か 政府無も在野瀬も共に政策の立 天氣 豫報 効能で賣れる

5000,000 6.700 000 を劈懶市場に没り出すものであると時間は「災それは数十萬の劈働者」とい消費者を達んで行く。「簡 一際二千萬人――年々九十萬といのではないか、アメリカの人口は 一億二千萬人一

3100

上からい

同間の失業者は三百萬人、けれいアメリカ政府の見被りによると

れる

ある、だから失業者が出せる、けの特別力で最大限の生産をするにの特別力で最大限の生産をするに 着増加の原因は第一に人口の過剰 立つて居るイギリスにおける失戦 立つて居るイギリスにおける失戦 の經濟力が出來た。このことはドれども最後のドイツには嚴前以上 にある。一九一四年から一九二人

らとさへ言はれてゐる。今になつ | 高い樹織 (三) 職滅なる消費── 際のところ四百萬を超過するだら | て見れば (二) 間職なき生産(二)

世界全土に

一百萬人

多いのは英と獨

* 倘が・ペ・ウの手は支那にお一般で感光免職されたが同地の情報を持ちる。

居る、ドイツの合理化は最小限

れた「観殴された。斯くしつは十一萬五千より六萬二 千三百人から二千九百人にた、即ちイギリスの数米秒 は五萬五千から三萬人千 ンド等の温 の移民は十八萬六 利人口は関ウス、イタリー た残った

解決の鍵は國際協力の中に在る。

アメリカの經濟も行き語つて來たとの三つの原則の上に立つて居る カの人口は うしても関外に過剰等関力の が足を告げたりする、日本 関によつて人口の過剰に基 出すべき最良を持たない

真委員館前頭分科委員長フレンテー 腰新造費支出家を握りつぶすべ 佐)平井勇(近前師闡師理部附ン設養報に使ればアメリカ下院豫 來るべきアメリカ議會は各種医 ▲岬内一峰(第九師廟豪謀共兵少【東京物配二十 Ⅰ 日刊 】ワシント | 氏は去る十八日

政策轉換に及ばず

れにしても北伐のみに接頭するは腐れても気が領でたく、そ

何の故かの

 \Diamond

財界は漸く常態に復す

どうしても■際的になる カで頼しい移民母が川來 にアメ

政策を強い、日本のと論じ最後に今日の政策を決定は今日で見る。 異常な經濟状態は衝大階態に復すなきものなりと輸じ最後に今日の

大全國的遊戲の第一級を提べてく 「東京十一日一般を開いた、先づ加 連続時代の一日一日一般を開いた、先づ加 上版相思つて世界不量がの第一級を提ぐべく に対する版本的葬儀に言及し事に に対する版本的葬儀に言及し事に に対する版本的葬儀に言及し事に に対する版本的葬儀に言及し事に の時

後五時開奔前半くも消費で戦 大阪設合は準期段大塚沢を呈し午大阪設合は準期段の日比谷を含まにおける政策主版の日比谷を含まにおける 検束騒ぎ

演説會場で

社会旅首領、南首相ワンデルブル

大連市内

「内」に於ける徴民館

はのである、これが下脚査のた配考館し四方配、三十六島に分

連をまつ

先に

委員を設置

くのは二十四月以移遜當の日を選ば、二十三十四月以移遜當の日を選ば、二十三十四月以移遜當の日を選ば、二十三十二十四日以移遜當の日を選ば、二十三十四日以移遜當の日を選ば、二十三十四日は、二十四日は、二十四日

までの間になるものと見られてる
が出發の時間は午前四時から五時

で状率態馬大倉を開催するが、出三十一日の六日間屋ケ浦の態態場 二十四、二十五、二十九、三十、大連競馬俱樂部では來る二十三、

前景氣頗る盛ん **州る廿三日から**

取で内抽職新馬は六十三郎である

午後五時郡列を殿し南山麓砂心寺日朝脳泽血で死去、郡儀は廿三日日朝脳泽血で死去、郡儀は廿三日日

頭がの多出

の多浜保護、海守大氏の香質園療験氏氏の大幸健、小南夫一氏

奉仕の

のまして下さい

官兵で交戦

ルチザ

機能監督に當つてゐるが、二十三十は毎日強強から霞ケ浦に通つて七は毎日強強から霞ケ浦に通つて

飛行機タコマ號を置ヶ浦に祭籠し

展験長貧民窟を檢分

~來る十月一日から施行

されている。 一萬側の家質をあげてゐる。 いが 一高側の家質をあげてゐる。 いが

大国定まるもので高い安いの標準は決められないといへばそれま 一定まるもので高い安いの標準は決められないといへばそれま 一定まるもので高い安いの標準は決められないといへばそれい 無字を現はしてゐるのも 学覧だ、そこで最近借家人同盟なるい 無字を現はしてゐるのも 学覧だ、そこで最近借家人同盟なるのが合法的方法による家質現下げ対影を漂流して生れたが、

一荒なことは

佐々木正隆賃付課長談 でゐるやうにいはれるが、そんんだために慣地の利子でもない。 それで残今のところ家館が下げをれて残今のところ家館が下げたつき考慮してもみない、借家一方の意思で解決のつく一様ではなし、手荒いことをされてはなし、手荒いことをされてはなし、手荒いことをされてはなし、手荒いことをされては りだ。ドシく一情手があるのだまた高い安いのムラもないつも なケテな老へは持つてるない。

引下は考へてぬない

ってご損

のものもあれば五分段のものも むつもりである。その率は一間 むつもりである。その率は一間 の方でも憎主において心臓があった情に接してゐない、偕家人同 引受けるのは原債が餘程安くな てみない、そして最近東拓より あるといつた具合で別にきまつ を を なの方の民家は約八百戸で毎月 を なの方の民家は約八百戸で毎月 なの方の民家は約八百戸で毎月 借家人よりは餘り

だから致方がない 餘り苦情 出な

池田操氏談 市中側が

市監住宅は約四百六十戸を抱へお監住宅は約四百六十戸を抱へ 家質を見上げるのは却つてどう家人のみ利益のために全市民の家務がある層係から底に借 還の機務がある3~、二時位をいつもりでゐるのと年、「他 杉山虎雄氏談 十戸を抱へ

い家ばかりで一萬 ちらには約二百月あ 高橋溝銀常務談

質率がない有様だ

でも様々説明教したいと思ってればいろくくお話を聞き、常方

300

高くな 近隣に比べ

川あけてゐる、家質の第定は時間主義によってゐるが特近所に、 一般主義によってゐるが特近所に、 一般が保護さるれば一館位能下げ 一般が保護さるれば一館位能下げ でもよいと解へられてゐるやう だが秘共はまだ全然考慮してゐ ない、元宗宮行としては時間で ない、元宗宮行としては時間で 側に佇んでゐた日本人青年が突

原因は

てある間に交も行方不明となったが米率した時渡邉と山倉し話をしが、米率した時渡邉と山倉し話をし配し捜査中、たまくと渡總の友人 であるが、田中は七月郷里に■國 ・原因は 懐中せる遺骸が戦 もなく 赤家庭には相常複雑せる 事情があるらしく常に同僚にその る十五日益漢號を引き搬ひ友人間すると稱して大胆工場を際職し末 とを雇らしてみたので、 は既に瞬回したものと思つて

京に向け出發するはずである 飛行場に到艦した二、三日中に東 飛行場に到艦した二、三日中に東

八命救助演習

味七名が無電を利用

政市場攪亂

の悪事

上海・營口・大連と連絡を巧にとり

大連署員

上海へ急行

上海佛祖で落籍し豪奢な生活を管んでゐた

と云はれてめる

警妓の衣類を

情夫に入れ揚ぐ

仲むつまし

下も耐火質行しやすくなっわけ
元利金機却が完了すれば家質値
を安くなり、且つ十年散機の
東きなくなり、且つ十年散機の

ウ御用命次等視品持参ソ

人兒 科科科

八十

一十十十 七五五五 錢錢錢錢

先づ健康

沙致し

滋養豐富美味新

安心して召上られる

十日午後十時大山畔を愛した長春: 十日午後十時大山畔を愛した長春: 十日午後十時大山畔を愛した長春: 厭世の 鐵道で飛込自殺 ゆふべ昌光硝子裏で 日本青年 次郎氏の伏見號、内田領一氏の将井信次郎氏の休見號、内田領一氏の

5 O.

小兒諸病

古馬秀徳湖する郷智タイムを現はの如きは最も優れた酸馬で、既に 邦須野號 てゐる、 馬は関東四政民は

服みよい點で微妙な奏効と

家庭である。治病、保健・



手皮

花

記話六〇五〇 大連紀伊町二十

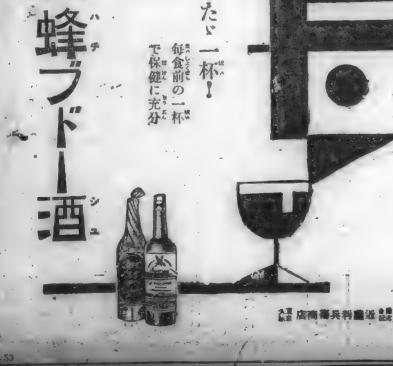
藤田柳霞

桐簞笥製造販賣

新荷着御家内 ワ 式京東 相物一切修繕之致シャス 環能はら屋花環内

額樣。 深 本 耳 鼻 咽 候 材 3111110 院 大連市大山通三雄隣り 醫学博士森本辨之助 御用#化濟橋。常盤時 电記二二二10番。分店 - キャベシ マルイバ ノビョウ 電話五三七〇番





神東側では社會生活の改善向上を を作成中であるが、総當り十月 ですべく目下準備を急いである。 ですべく目下準備を急いである。 ですべく目下準備を急いである。 ですべく目下準備を急いである。

藝妓が 離婚請求の訴

いずらに見受け

でも支那人家屋に比較し日本 いのには悪いたが、■じ町なら がでも支那人家屋に比較し日本 人家屋は日本へ獨特の潔癖な類 人家屋は日本へ獨特の潔癖な類 人家屋は日本へ獨特の潔癖な気

下記野中である 問題であらう

で東変西部線島奴耳郷別方で島巌 を東変西部線島奴耳郷別方で島巌 とパルチザンが劉六時間にわたり とパルチザンが劉六時間にわたり 頗る物騒

用意中不最無の満州で背に関はか を戦し百十六號列車は立住生した を戦し百十六號列車は立住生した を戦し百十六號列車は立住生した が成河、福拉爾一際はバルテザン が成河、福拉爾一際はバルテザン が成河、福拉爾一際はバルテザン が成河、福拉爾一際はバルテザン が成河、福拉爾一際はバルテザン が成河、福拉爾一際はバルテザン が成河、福拉爾一際はバルテザン

「東一京號」の選和監督 カ外たる影響界や支那様に接続を一東一京號」の選和監督 カボを以って行はれ日本は窓のをとしていまれる。 一味の無電空用は極めて攻勢なる 某辯護士が 計畫に與つたか 上饲外一

けふ市中各商店に陳列

● 前化不良と■い子供に● 対のまず、ヨオキずる時● は 乳、青 便、下 章に● な が、チェ熱の時の時の時の時のでは、 いの個子様へ

盛會を期待さる

他の女こ同棲したこて

提は実際職士が難したものだとも 動の下に行ってゐるが、これが方 附を分類、物益分配を行っ 即に取り ぎ豆利を占い 帝に電話出二個を設置 - 祭の際れ家たる概化薬に は八須賀が一千人百鷹を出 部に配

用意周到な一味の隱家

はこの壁頭が、城南を殴り無路をはこの壁頭が、城南のであるため替出のあげた頭が横でされてある。なは競技を殴り無路を

全満水上競技近づく

クローム腕時計

育兒の友進 主

大进 黃藥會

内左配谷間店と既に陳列し谷位の御観覧に供することに致しまし続すところ十日に迫つたので、後て翌表の各景品は二十日より団体がある。

全治 道九

りと今にも大蛇が鎌月を振げて。にゆれる鉱棚の絵あたり、むつくにゆれる鉱棚の絵あたり、むつく

馬く 不無味に酸んでゐる他館

を配んだ。 を配んだ。 でおい?!お娘さん!その心には 大蛇がある皆だ。 地間な戦だせ。 はなけた製似もいい加減にしてく

あったが今度小唐黄の名をもらっ かについて際古中で かについて際古中で

◆野球連絡放送(青菜)名古屋 ◆野球連絡放送(青菜)名古屋 ◆ラヂオ體操

地下室。

て久々で翻選し▲ー

昨夜補縱伊譜

大連神明高等女際校園田、京都圏(大連の街路側に

大日本麥酒會社特釀

ズンビ

(白瓶)

讀者優待割引券

寄り頂もあるから、そんな時ならこの次にして貰ひても」

がで類利用あらん事を動悸ち 減各位の疲勢を動するには此具に本館の誇りとして居る所具に本館の音をにして快適利便に

直鐵

營省

東京小石川小日向水道町豐園社で一杯の鴬瓜駅澤山(空個卅銭)ス(夏川静枝) 実他夏らしい凉じ

「田原町からの戻りだ。少し先にに終んだ物官ひ! に、それとなく意味を持たせ、

蛇と同じに勢拗な情に燃える瞳

今夜はこのま、戻しませんとの 秋か大戦にでも脅まれて、一思ひに が大戦にでも脅まれて、一思ひに たるない できつめ

大は二十五日より歌舞伎座に京山 小国の二世を継承するものと戦されてゐる。京山周洲加ふるに実感 の所有者として知られてゐる。 原山周洲加ふるに実感 を表。新進の京山若殿女演浪曲家

とからか?判つてお臭れでござん

日

込んだので、大騒ぎをしてゐるの小屋から逃げ出して、その池へ飛

(32)

パ社特作品天然色レヴウ映畵

踊る人

全九卷

がラスの・・・・ 学グラスの・・・・
は正十道率やかなりしルイナニーが一般のの総に殉する
と一部でのフランス・創体を情ない。
といれてする
と一部である。
といれてする
といれてする
といれてする

喜乡 元一郎

讀者優待映畵

曾

想

かー滑音哥さんではござんせぬか 「まア、か組の頭ではござんせい おさしみお金(III)

頭がさり傾しやるなら無理に氣味では数別に有り離ふし何アにねる

ででくれたのは、佐度観音さまのでくれたのは、佐渡城でのお娘だって謝氣でが思いやね。お前さんが通り掛けが思いやね。お前さんが通り掛けがいる。

一千丈の紅総り日活時代劇特作品澤田清主演

大番組か組の滑音の前へ立ちはだ が射して、そこの路面、土間口の が射して、そこの路面、土間口の が射して、そこの路面、土間口の かつた。 らず繁晶では構だな」

るのさ」

「頭はこれからどとへ?残ら見世物の大蛇が逃げ出しても、 鬱ぎ足物の大蛇が逃げ出しても、 鬱ぎ足 蛇が避うござんすか?」 消吉は立ち

なら、店を締めることにしましゃ 『悪い了見だ!瞬戸を砂いたらいなりませうからね』 ですが滑音さん!お前さん 前さんがさらいしやる たの

ラデオ

スズラン座

納京温習會大連音樂學院の 來る廿三日開催

お療は、ぐいくとか紙の清古と、奥の矢返し女へ覧をかけてると、奥の矢返し女へ覧をかけてると、奥の矢返し女へ覧をかけてると、奥の矢返し女へ覧をかけてると、奥の矢返し女へ覧をかけてる 個人何をぐずくと考へ込んでる 関利益ですよ。 さて滑音さん! た人の相響による外人少女の舞踊 しい鬼恋次■氏のセロ 職差等の数 助出減もある特で、疾職希望者は 助出減もある特で、疾職希望者は で、疾職希望者は 會會會

▲安那劇(蘇武廟) 連東俱樂部々稲田半狂、三絃稲田へル

三十一日より大公 三十一日より大公 三十一日より大公

的可

チネロ

後援

日報社

讀者附上五十錢階下四十錢

週は街期待の排篇・・・・
説明 ……は、青見楓演・
な・愉快篇・
な・愉快篇・
な・愉快篇・
な・愉快篇・
な・愉快篇・
な・愉快篇・

大日活に於て 八月二十日から

歌舞伎座のスズラン座はいよく 京都へ■るお別れ公演として明夜 より三の替りを上演する事になっ た、骸組左の如くである。 一、悲 歌 劇 宮具音頭 一幕 二、歌舞伎劇 壺坂 二場 三、歌舞伎劇 壺坂 二場 終料金で計成績である 等であり入場料は五十銭均一の大 歌舞伎座のスズラン お別れ公演 ▲天氣業報
▲料理献立

京

▲開演 未定) 本課子■大會町況水上本課資 未定)新城参議本課資 未定)新城参議本課資 未定)新城参議

、 別唱 イ可愛娘が散步すり 、 別唱 イ可愛娘が散步すり ・ で オルザーク作作品一〇〇 ・ で オルザーク作作品一〇〇 、松山長谷夫、ピアノ高折とヴァイオリン獨奏 立松

讀者優待映畵會

「踊る人生」

晝夜共に満員の盛況

第 アラピエフ作 日

ヘルスケリー氏主演 サンシーキャロ優 スザワード特件ラント特件のサント特件のサードを発売します。

際

所でも御川下さい ジャバン・ツーリストビュー のでも御川下さい

秘密嚴守

保管確實 貸出勉强 弊店の特色

0)

簡便なる

しる

電話五二六〇番



▲落附いた美しいお化粧が出來ます ▲色の白くないのが自然にかくれ・・ ▲生れつき色が白いやうな白さで・・・ あぶら性の方ー年ばいの方にも一 の白くない方の白

山地の木 山地の木 大変であります。 は、光質せる内容と は、光質せる内容と のでありますがら何等と 水紅化化儿明数与办水のまちゃ、 君に捧げるこの一瓶 あなたに贈るこの一 永久に岩く 美しきお肌のために! おを削のあとに 然タオルの香水として 白粉のとき水に アセモ止めとして 瓶 20377 斯、50小粒、80新型、45

飲清料凉 リボンシトロン 御相談に應じますの錦業に開する總ての

▲徹底的驅除なら
緊急調整公益
対
取次電話六二三九

Zは信用ある各楽店、雑貨店にて販賣す

月 語六 亚 四 四 七 八

丁鏃業所

簡單、芳香性にして『シミアト

主成分は強和なる結晶體とその發生繁殖を根料 價格は其の二分の を残さず

ルのイットが他の一夜で大津味能 一本来週の大日活は「ロイドの一番 本来週の大日活は「ロイドの一番 本来週の大日活は「ロイドの一番

々に大連を去る、総を飾るべかりやると力んでゐる▲スペラン座近 タン 木、心 中 ツーダ水のやうな憩の ・味・朗らかなカレッゲ ライフを消撃したまへ 小学安二郎監督 落第は

岐路に立ちて

港丸圓洲虎岩の

たワ

器

あぶら性の方に肌色美顔粉白粉色の白くない方肌色美顔粉白粉

日

踊る人生と千丈の紅戀 人月二十日から大日活で

「だから私アお前さんに居て貰え

讀者優待割引券

踊る人生と千丈の紅懸

陪一四十錢

H

報

. 大湖大山西 0

同 四三度 四千四百貨車 昭和元年度、三千二百貨車 同 二年度。五千七百貨車

相當宣傳の と思ふ、上海難動油度係可変及語 と思ふ、上海難動油度係可変及語 と思ふ、上海難動油度係可変及語 が針類を確認した。私 ので明書製行を確認した。私

大豆の数域は左の如した。 大豆の数域は左の如した。 大豆の数域は左の如して手度 数量(米側) 間 一部一分 三二年度 三元、000種 一部一分 三二十000種 一部一分 三二十000種 一部二分 1000種 1000種 1000円 1000円 1000種 1000円 100

上海向け 四千四百貨車 ・ 大豆の過去数ケ年間に除入 ・ 大豆の過去数ケ年間に除入

恒陈建此

大 镰 新 麥根路

油房

上海搾油業工廠一覽表

上海市場に於ける

滿洲特產物取引

では一番ですった。 一本 別 四千四百貨車 はの外境日産(長は沿岸)大豆約 が上海に於ける油房工場は左の近れの外境日産(長は沿岸)大豆約 が上海に於ける油房工場は左の近が上海を中心として電酸するのである である。 でして之等の大豆の用途は

(II)

歌合寶典事 中西瀧三郎

例年の如

大五二 大連魚市場の七月中における取引 電腦等は運搬に直配せるにも気ら 大連魚市場の七月中における取引 電腦等は運搬に取扱した。 これが暖金の浸収 である。 大連魚市場の七月中における取引 である。 大連魚市場の七月中における取引 である。 「一五 中の従業運船整数は機能医現郷に と である。 「監監解保は観む 関帯に推する 「である」 「一五 中の従業運船整数は機能医現郷に と 一五 中の従業運船整数は機能医現郷に と 一方 ことを 「一五 中の従業運船を 「一五 中の従来」に 「一五 中の 「一五 日 「一五 中の 「一五 日 「一五

大連魚市場不振

し七月の

不漁と魚價低落にて

谷市場別費上及びその合計左

一三、〇三〇

して前月より四千三百八

生食鳥魚 競子 十 料駅 菜果 鳥貨肉

昨年に

支那海圏が收入減退に苦しみて

新規貸付高

排込の爲め 雌鍼受當 んだためでの P 糖安は 資社の内容懇談と新練の P 糖安は 資社の内容懇談と新練

日糖安の原因

一般物價 の趨勢に順應し 原にして同年同期に比し近で銭元 原の下落やポーた

に得意の髄疹に努力してゐる

してゐる

來月の十

と共に之をWしてゐるが、総然か ものと信ぜられてゐるが、海陽設 あるため未だ告示するに至らざる と共に之をWしてゐるが、海陽設

大連市設五小賣市場

七月における賣上高

大瀬市然中央郷市場域資人組合標 東事務の不正行為が問題となるや 大瀬市然の不正行為が問題となるや 大瀬市然の不正行為が問題となるや 大瀬市後に設得して総上を一般に対したのは、 大石 により一部市館域では、 大石 により一部市館域では、 大石 により一部市館域では、 大石 により一部市館域では、 大石 により一部市館域では、 大石 により一部市館域では、 大石 に対して総上での後二週間である。 大石 に対して総上での後二週間である。 大石 により一部市館域では、 大石 に対したのは、 大石 に対して に対したのは、 大石 に対して に対したのは、 大石 に対して に対したのは、 大石 に対して に対します。 大石 に対します。 大石 に対します。 大石 に対して に対します。 大石 に対して に対します。 大石 に対しまする。 大石 に対します。 大石 に対しまする。 大石 に対しまなる。 大石 に対しまなる。 大石 に対しまなる。 大石 に対しまなる。 大石 に対しまなる。 大石 に対しなる。 大石 に対しなる。 大石 に対しなる。 大石 に対しなる。 大石 に対しなる。 大石 に対しなる。 大石 に

十五銀行減資

電東京二十一日設電通過十五銀行では整理案に依る未排決金の後收 を踏網線の失概手続き完了したの と端網線の失概手続き完了したの を下で、來る九月二日盛時機會を開き で、來る九月二日盛時機會を開き 多く市場が活況を呈してあるから を場を一時間延長し三時学まで行 が、総治へ配準氏より右の家を拠出し 大多数の形人収配人よりである たので今日鑑問機に交渉中である たので今日鑑問機に交渉中である たので今日鑑問機に交渉中である たので今日鑑問機に交渉中である たので今日鑑問機に交渉中である 場談上として後場は二時代まで取 場談上として後場は二時代まで取 いたが、場近出来高が のであるが、場近出来高が あるから來週の月曜日あたりから

運合會社活

二十日は一貫五十七側で取りが出 は付けられない有標であったが、 は付けられない有標であったが、 は付けられない有標であったが、 は付けられない有標であったが、 は付けられない有標であったが、 大阪市主催の國際見本市開

中西理事出發延出、中西理事出發延出 については職へ報道したが、 大阪市主催の関際見す!

0

本賣藥株式會

電話五四六九番

引 五十八圓四十錢

場(保合)

ル發用 ーヤル殺用 塗 装 ー油油品車

(中華) (1.4 mm) (1.4

七月の統計

一兩行株主総合 前二時から株主総領を開催さ 前二時から株主総領を開催さ

卸賣人組合の

不正事件の始末

一部市議の策動が奏効か

田中市長これを如何

模様である 「は関ニ翼大の数字を示してゐるた は関ニ翼大の数字を示してゐるた 配においては年額十順位使用 で、ルミン」といる数組 別の 免税 中等 てあるが、右はアルコールを概せられてある。それで触では目下これが免税を申請中では目下これが免税を申請申では目下これが免税を申請申では目下これが免税を申請申

内地産の松

錢鈔後場延長 來週から實施か

物の乙部)物の乙部)

大連門工館議所では二十三日午後大連門工館議所では二十三日午後

商議役員曾

→ 『四本茶』別委員會設度・『四本茶』別委員會設度

電話七九八七

永原小兒科醫院

宋京新富堂支部 第二〇二〇里

生 活

0

AL.

打

利得

吉

れない娘と

難より入勝の河南丸にて來通した いてゐるが「本人は何等略局前陸顕總長館無順氏は二十一日天」が時間がら同氏の來往は註目 として本り正午北京 相當の時日を要する

国民の使者として本り正年北海神 後はは家天派の諒解を求めるため を含むして取事報告をなした條作 と言えして取事報告をなした條作

だが重大な障碍なし

れる

飽貴卿氏の來連談

釈でお揃ひの精査委員

相上で政府を組織すべく目下北歐神一政府組織は塊分響れるも重大な障が を方配の容無は膵臓形、腎臓獣氏 新国は政府成立に大した影響はな を方配の容無は膵臓形、腎臓獣氏 新国は政府成立に大した影響はな で現底によるがその内容は発表せず 氏の意響を耐ねてるる。 尚質用の は、新国は政府成立に大した影響はな で、現際長氏は赤花散正中立であり で、現際長氏は赤花散正中立であり 文中既まで持ち上り報査委員附附

川時代の遺物」位に見てゐる不む一時代の遺物」位に見てゐる不む一

張學良氏の嚴正中立で

高程府無長を赤ッ州後町 高程府無長を赤ッ州後町 の際が切つて踏されたそ

下文形に おいては附着の職様である。 「大文形に おいては附着の を集である。

鐵道運賃

の減收

少くも三千萬圓

遂に實行豫算を節減

學士院の會員に

新進拔擢の叫び

沈滯氣分一掃のため

圖曼曼引

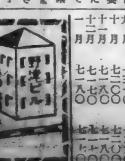
十二萬六千剛を七千六百七十萬、改良愛賞行豫第、一億七百三

海軍の補充計畫費

明年度分は一千八百萬圓内で その一部を豫算面に計上する一







緊船時代と

說

古船の整理

が 薬剤したが 薬剤したが 濟南奪回を策す 韓北上中朝たの央書

英の独も年額二の東京では、

破格の

非細精腫、在順人座右の資血 見三千六百名、附線の銀行命 日本間の異動を網羅骨補新刊 「一部金」夏山八拾移

普及

る事となった

間 同 設 要 所

滿洲日報社各地販賣店 大連市沒等 | 滿書堂書籍部 大連市沒等 | 太要的建筑書店

部數に限りあり即刻お申込み下さ

競行

阁氏自ら陣頭に立ち

開錫山氏自ら想司

大田イギリス保守職で

殿殿町

條約非難 チ氏ロ

派に氣兼ねした結果で平津地方はこれが爲め一と安心の態である一三の兩師は近く南下徐州に向ふことゝなつた、北上取止めは奉天一、二十の五師團で右は黄河を渡り北上することを取止めにし十、北平特電廿一日發 | | 湾南附近に在る中央軍は十、十三、六十、六十

張學良氏と重要な會見

馬

山東省政府

愈上濟南に復歸

とゝて注目されてゐる〈寫眞は佛

の 原子が南減層大に在戦中だが と開いたので見舞覧々来たのだ」 と開動し最近の北支状勢につき語

れば重大な結果を確すこ

木炭瓦斯研究

双心

自働式電話奉天支那側 來月五日完成 の

-

八六元版

10 比前年回期 10 型元 短短被機

二一菱銀行配温 『東京二十日發言項』三紫銀行は九月五日十日發言項』三紫銀行は九月五日

八川上旬

千七百萬圓

外國貿易 八月中旬 0

^思圓捻出の方針

繼續費中から

入藏省の大節約交渉に對して

場がの駅に飲むしてすっ 場がの駅に飲むしてすっ あるさうな▲一親り院西 口は昨年だけで三百萬人被つて

映造を際止し新に三種を製造する 事質局は飛て煙卓品権の整理を制 ・、、、の京二十日漫点編】大談省最表 型草整理 専賣局が 三種を發賣 ル東藤群**今**(二十日付) 旅順 科大學助手

公 級高等官七等、十級保下場際所與應減信書記 等品

性の窓氏)中の一部異瞬が行はれ のほか取締役(山西恒郎、千姓寛 (向城艦一郎、田所耕耘、貫戒館 (向城艦一郎、田所耕耘、貫戒館 を登せる。

給與規定改正案の研究等につきを ての本年度當行権。完然數及計員路 は地近減收監策とし

大四三一四五五 大四三一四五五 大四一五五五 〇九三〇〇

所株主義音

首権でゴタくと続けて來たし

前田氏より八千七百五十圓を変前田氏より八千七百五十圓を変

留職場に駆かれてあるが彼は漁場 動業に係験機まるので謎に睾夫場 がれてあるが彼は漁場

解決となってるた共産

共濟組合

定市院、槍投、千米メドレしの百米、棒高跳、高障碍、走高の百米、順盤投、百米、同盤投、百米、同盤投、百米、

常り樹立金の半額二萬五千圓を佐は上田、三角氏等の關係により差

騰菊衣郎はより一萬六千二百五十

殿が演ぜられることゝ期待されて横げてゐるので常日は定めし白熟

陣容を整へて居り又率天軍は短距差減、古屋、久富の弧纜を揃へて

彼響事件を聞くが率天鴉常局では今年も順戦の横行期に入り各所で

語る

つてある一日 管口杯由で汽

あるためか楽客は少ない で は まで が、 概して北寧線開州を 使つて が、 概して北寧線開州を 使つて で で ちょう は から 一 て 管口まで 約三 間で あるから 一

▲今井第州鄂歐長 十九日過距 瞬へ

廿四日公園

にて

長春球県は最近頭デームの來述なくファンも失調してゐたが長崎高 ・ファンも失調してゐたが長崎高 ・大ームの來述が決定した 一人長崎高尚 八月廿六日

間、八月廿六日

野球團來征

おのが今年度内称数となって居った はに分れた外今年は数値、概生、態度に比し入百六十四首 では分れた外今年は数値、概生、態度に比し入百六十四首 がの如く十九年度の練数がの如く十九年度の練

度に比し入百六十四萬五千五十元

というの如く十九年度の機算は十九、二九七五

を関する場合

を関する場合

を関する。

では、大方六十四萬五千五十元

主

弓道競射大會

奉天以北の選手集る

刻なる體驗」等の講演をなした

早大の剣豪を邀に

永安道場で熱戦

三十日午後三時から

守備隊司令官 十九日過奉公

危險な高粱畑

▲高橋京大教授

2 十九日過零撫順 十九日來率

塞天署の注意

朝來率同日撫順へ 計日

を表示しています。 をます。 をます。

してゐる、之れにつき率天瞬では 天際だけでも一日平地三百名増加五日以來議録の管口行き乗客は舉

日午前十一時国陸軍艦等地でモル 西地大街三丁目 11三洋行内屋衛 西地大街三丁目 11三洋行内屋衛

5+

理事會から管理局に對し、今後 が選ばはは対した名のを登録 なる著名のを登録した名のを登録 なる著名のを登録した名のを登録

史任披露 森岡中佐と花谷少

北平に向ふものは總で清線線で加工日以来清線の管口行き乗客は率

が該案を拠へ社

協哈した 零

天

を開催することになった京城軍は を開催することになった京城軍は を開催することになった京城軍は を開催することになった京城軍は を開催することになった京城軍は

支捕金は合計一萬四千圓である 電は二十日製河の指泉配製の の(あり多内氏が常選したが配理 をに取って家戦を放験してが発送した 前館長守田融歴氏は三年中の人した 前館長守田融歴氏は三年中の人した はれたこと」でその設低は各方面に はれたこと」でその退低は各方面に から大いに慌まれてある 公安分局長更決 したと倘節會公安局警察長任命のなったので十九日事務の非綱を了なったので十九日事務の非綱を了いた。

今年は鍾安と支那側財界の不況 等に待ち受けてある高疑畑などの小路 等に待ち受けてある强盗が多い から率天市民も高疑畑などの小路 等に待ち受けてある强盗が多い から率大市民も高疑畑などの小路

○ 本田(第一回戦で勝つと思ってもは、 ・ 本田(第一回戦で勝つと思ってもは、 ・ 本田(第一回戦で勝つと思ってもは、 ・ ない、大・田(第一回戦で勝つと思ってもは、 ・ は、 ・ は、

長春等より選手によ 人質に 人質に

立毛品評會

賞狀授與

藝酌婦花代值下 本月末までに實現か 贈があるが未だ確定しな

町の便

値段の学額で二週間すべての観食 離野、その披露として現在の組合 の食道樂校ずしでは奴食堂を がないます。

表る十七日の零点野抗勉道大會に 大勝せる無限勉道郡は膨水三十日 大勝世る無限勉道郡は膨水三十日 大勝世を滅ずる事となり帰取の 「大寒酸を滅ずる事となり帰取の 「中号三時より永安泰道場におい 「大寒酸を滅ずる事となり帰取の 「中号」となり帰取の 「中号」となり帰取の 「中号」となり帰取る 「中号」となり。「中号」となり帰取る 「中号」となり。「中号」となり帰取る 「中号」となり。「中号」となり。「中号」となり。「中号」となり。「中号」となり。「中号」となり。「中号」となり、「中子」と

出後一緒に歌可をする豫定で多分信が明されたよって歌可の領であるが一覧があり、その歌可願を提ぶける計量があり、その歌可願を提ぶける計量があり、その歌可願を提ぶける。 可願を撃天場に提出し、響でも大花代館下げは十八日同組合から職権機関が減の料理店組合の駆除が 七圓を六圓に、瓷間午 金谷部長遺骨 に改正

料理代値下効果の無い

不況益々深刻

長春磐管内七月宋現在人口は三萬

七月末現在長春署管內

△大將五段玉利三之助△四段德 毛昌人、大乘宏△三段七鳥隓邇 山森榮文、井上愷、畑中申、松 川森榮文、井上愷、畑中申、松 門有里郎、鈴木溫、和田龜次、石 田村門町、井原獺三△二段漆野 白石、山田惠三、岡田蔣男、大

作業改善法その他重要事項を協議を開発し、各項のの表験が主任会議を開売し、各項ののを対ののの表別を対し、各項のののでは、例如ののでは、例如ののでは、例如ののでは、例如ののでは、例如は、例如のでは、例如は、例如のでは、例如のでは、例如は、例如のでは、例如のでは、例如のでは、例如のでは、例如のでは、例如のでは、例如のでは、例如のでは、例如のでは、例如のでは、例如の

子

人口こ戸數

精村五郎晚土 市毛正平

初主任會議

を登録にて來華本郷氏宅と姓信中 安華観にて來華本郷氏宅と投稿中 であるが一輛日中金谷無長の遺情。 浮浪人の脅迫 率天而職の役員會は十九日午後三 時から開かれ商騰聯右會に提出する 護案につき協議をなす處あつた が十二日午後三輪から最に議員會 を開き右間題と會■■誠に闘する 件を審調する由

て始めてのことで補州野球界に正

後とも子を持つ親は特に社會を 別婆すべく前肥時類に甜瓜を買

が二十銭下つたから一騒ぎやらうれる家もある。一関八十銭の花代

此期子では不景源はます~ 窓がと云ふやうなものは無いやうだ。

見事破ったのは率天禰倶が生れ

れの尾鰭先(**)が同地の自饗殿 継捕されたとの通知に挑し獣暴 を着方に炊事光として働いた事 り、賜賊の頭目大黒鬼の部下の り、賜賊の頭目大黒鬼の部下の は 大と共襲狂を人質として身代金

では十六日から實行されたが、値 を下げたからと云つて別に銀氣づ を下げたからと云つて別に銀氣づ いた機子もみえない、中には銀氣づ

九千二百九十二人、戸敷六千八百六十六月で、その内長春の戸敷は六千九十四戸、人口三萬四千六百十一人である、配して日本人の人口は一萬一千十二人、戸敷二千八百九十八戸谷地別の細別左の如しる長春 戸敷六千九十四戸、人口

△大將五段佐藤△五段河部△四

間値下げの主なる花代は左の通り

月中には實施を見るであらう

とし五十銭を四十銭に、舞は既成の線香代は十元分間を

列し拳脚に供してゐ

本ルロイド会社よりセルロイド玩 はの見本を送付して來たので同組 会では廿日より三日間事務所に陳 本ルロイド会社よりセルロイド玩 をでは廿日より三日間事務所に陳

ることゝなつた滿籤消費組合問題 率天、大連の兩會綱所にて超草す 哈 に歴史的記録を作ったと云っても 過ぎで進み。この快心で努力し行く 気で進み。この快心で努力し行く

西部線に 密偵網 感して已まぬ

秋季大祭協議会 会議第において氏子總代及び世話 会議第において氏子總代及び世話

はれることになった

第四回阿徽夏季大學は左の通り行

百十四人 百十四人 本和崇屯 戶數四百七十二戶、人 百八十三人

ず無順谷小野校生使中にも家庭の深刻底止する處を知ら

つた無軍は関野を擁して苦悶する神の電子を表の意味もあり目下猛地であるが道般率天に於けるリー

戶數百九十一戶、人口九

戶數三十五戶、人口百一六百十一人

豊食ぬきの小學兒童

地方係から給與に決す

滿鐵夏季大學

露國の活躍著し― 出雲大社支所落成 社支所は最近落成し出雲千管家大へルビン縣政衛に建築中の出雲大 の政治、経済は総で野農側に報告

山田中佐謝電

六時小野校の後座に開催緊緊を恐怖の各部選手の診察論を二十日午経機関四公陸上競技大會に常地出地

省政府の豫算

前年に比し大増加

はいる。 はいか、 はいでは、 は

最際神の第二國民の心身發達を最際神の第二國民の心身發達を

選手慰勞會

である時も東文句を並べて金銭を の行動に始末にをヘず中島とは叔 の行動に始末にをヘず中島とは叔 の行動に始末にをヘず中島とは叔

飾の親きを

平津行は

設正代表として観大教中島愛太郎 がして探渉をした。因の哈爾賓爾 がして探渉をした。因の哈爾賓爾 発し十四日曜任 野人のため和摩された小池野 神人のため和摩された小池野 江 雜 爼 午後一時より「現代に處する」で「世界い呻吟」第二回は二十十日午後八時より補町教會的師内條第四日一十四日後八時より補町教會に、一十四日後八時より補助教會に、一十四日後八時より補助。

九州北

中佐より西村地方事務所長宛に一中佐より西村地方事務所長宛に一

合農外司激內財門 商交法育務政事 計資資盈費資費

番であったが今回三六二五に帰更 米安小郎検従來の電話は二〇九六

永安校電話變更

Ø.

房

店

北等級に探響方面は滞存の水準で北等級に探響方面は滞存の水準で

スタが活動し、

北寧線の不通で



本大 商工会議所が出来たのは明治四十年二月で大池より早い情時は城内の支那家屋で、合政も情がで附続地には一人もるなか・たたの後附版地が耐火發展して来たたの後附版地が耐火發展して来た。 山西モンロー主義の利害 前面景會な 庵谷枕氏談

(E)

近く渡初式 国士見橋 に

正房店背地橋より守衛隊に通ずる二個 の職業は総本鉄工したので想職、富士 ・ と、工費は多田組舗負金四千六百五 ・ と、工費は多田組舗負金四千六百五 ・ と、工費は多田組舗負金四千六百五

鉄出した、それが大正九年三月

薬の下で企業すべき

松野田地 二 — 四

女四—

において奉行、鐵門職所よりの後 野に反し機関原告組共スランプに 野に反し機関原告組共スランプに のみ嫌いの大勝に動せり、即領左一国戦において一勝者となりたる 穩金

盛花講習會 不職(受褒(島川(草津 日から十月末迄 四四四 Щ

11日総行にて営地通道社伍した新代職立守郷縣司令官森中時は十 森司令官通過

一番 黒気の好かつたのは

奉天麒麟、滿洲鯉粉、奉天化剛丁大製なもので南滿麒麟、溝漂手郷 大製なもので南滿麒麟、溝漂手郷 大製なもので南滿麒麟、溝漂手郷 業その他の大商工館社が五十二

第一囘戰

十八年度後年 一、六五八、二九五六元 一、六五八、二九五六元 一、八五八、二九五六元 一、四二八、二九五六元 一、四二八、二九五 十九年度後年 一、四三八、三九五 一、四三八、三一八 一、四三八、三四八 一、四三八、三四八 一、四三八、三四八 一、四三八、三四八 一、四三八、三四八 一、四三八、三四八 職職機関係の庭球試合決勝戦は 鐵聯組遂に捷つ

對機關區庭球決勝戰

第一、二回に設局された十九名中職署電過報電記を進めてゐるが、職署電過報電記記事件は日下概不

金二十五圓也 會社大連工場有志一局 隋萬代表小野木孝

安東軍零敗を喫す 名古屋高商この野球戦

おいては繁奏組と翻練の結果を発行して来たので、地方高級所に三百人物ので、地方高級所に三百人ので、地方高級所に三百人ので、地方高級所に三百人のでは、

昭者は至急性所氏名年齢を**附して** 者に無料分與する事になった。 所へ申出でられたいと

絶跡に赤剣の豫防が出来る総式の石礫防難は服用する事に依つて 記念品を贈る

合脈合主催の下に記念品を贈呈する脈と傾向下に記念品を贈呈する事となったので簡単 でとし金額は一頭商融液中込の事

0)

を初めとして各項目と

本と神社へ入後、支那街へ入後、 オる事となった、大陸五銭場一と する事となった、大陸五銭場一と 四平 街

角力大會 廿三日舉行

では力士十名の拔艦に終心してる中、大脚りを行ふといふので相撲部では力士十名の拔艦に終心してる。 秋季大祭協議 會部長中体預以入十姓氏は二十二

開原神社秋季大祭も膨んだった

前田署長叙勳

を開催し正嗣會頗及び常職員を正常の意味を記された。

在留邦人の望叶ひ 御堂建立に決定 十一月中には竣工の豫定

開電警察署長前田信二氏は十五日

質業界の

役員決定

會頭は川島氏

で二十二日午後三時より地方専門の意識館において氏子總代、地方の意識館において氏子總代、地方

原

秋季大祭の豊川稲荷の 十三、廿四兩日

安達さんの代配とは、

経人、異様の風格が、その無氣 場内閣を背負って立つてゐる力の 場内閣を背負って立つてゐる力の

安産さんの生産を記者は其の時で

特つてるる諸へ自分で入つて来て 分で送り出す。そして、大の客の 分で送り出す。そして、大の客の

の中面が内積を家庭堂の人

「さあどっぞ」
と意見する。そこにもに僚上りと思った無人の原格が見える。そこにを確か要さるの姿が浮んでこにを確かない事實であるかも知れ

人の時

安達さ

ん 0)

人間味

横顔を描く

(八)

ひ出した。 見た、ある場面の瞬間の印象を思

に毎日つらく影響車では完全に割けは態勢すると言ふが、九十 では實際まるつてしまつた。こと では實際まるつてしまった。こと

うと思ふ)、機敏は東の端だ、さ 博多は省線鐵道の西の端だ(ら 時のはでは、1000年曜の

旅で、私は、あらためて、日本はうして南と北と。この四十餘日の 製化のある製たなあと感じた。

て見た蝦夷地の印象をスケッテし はいで連続を除めながら、初め は、今級はその帰りの途中、凌虫 は、で連続を除めながら、初め で連続を除めながら、初め

- 多の海浦圏を二枚もかけて火をどつさり持つて来てく

歌では、火鉢が切迹へきまつて、 欲しい日もあつた。行く先々の

無く、こんどは、大阪から情で、出り、社田を廻つて勝向すっと聞き、出り、は、大阪から情楽、出り、

實によく 配慮火のやうに、 記憶火のやうに、

りだつてしまった。 原呂の中に居るやりで、

すつかり

が、北海道は原しかつた。

盛夏印象記

一 別に於ける創棄的です。 君は確に満 であ 総よりが、 の生活動と比較にはならない、 に今一の大原因は農学が一日や二日 の生活動と比較にはならない。 に今一の大原因は農学が一日や二日 のは活動といふ既で複雑くには實手を持 のでの前端で複雑ならない。 のはならない、それらない。 のでの前端で複雑ないない。 のでの前端で複雑ない。 に今一の大原因は農学が一日や二日 のにはならない。 のでの前端で複雑ない。 のでの前端で複雑ない。 のでの前端で複雑ない。 にはならない。 をはならない。 をはならない。 をはならない。 をはならない。 をはならない。 をはならない。 をはずりが方には画際が、 の直接板 でしては可能が、 のでしては可能が、 のでは、 のでは、

短田検事ではないか。 と選子が指したのを見れば、こ

んなさいっさうすれば其

お疑ひなら、このかつ

家 5 5

山川秀峰等

美人になるまでのお化粧

ペな扮裝をこらした化粧漬付の説明つき大寫ばん、栗島澄子さんか、 会師、 奥樹、 世話女房

「何?可處に?」

田紫影――あの人が向ち千家窟暦 「あれです。あの人です。 機事館

質オート・
一切岩質薬町通り 籍頂で支那人だけでも五

電話八九四八番 経田紋事が千家 総暦であらうと であらうか。この有名な鬼紋事。 であらうか。この有名な鬼紋事。

松浦自轉車商會 が連つたのぢゃありませんか」

十一日本人側では十二日本人側では十二日本人側では十二日本人側では十二日本人側では十二日本人側では十二日本人側では十二日本人側では十二日本人側では十二日本人側では十二日本人側では十二日本人側では十二日本人側では十二日本人側では一日本人間を開発する。 いないつくつして聞き返す。

は深晴らしい繁昌優りであったが は深晴らしい繁昌優りであったが は深晴らしい繁昌優りであったが が厳地外に一般同業者が出来て、

訪ねて

新臺子を

大三戦の女態をが四舌人苦の有様で、最初の勢は何鳴へやら今は低端が利かぬためお冬は附屬地内では左線で、最初の勢は何鳴へやら今は低端で、最初の勢は何鳴べやら今は低端で、 ををとることを一つの樂しみとしてゐるのである、安達さんに云はせると「わしは食道樂なんだ」といふそして家へ聞つて。夫人の手調に舌跛を打つのである。が、しからは「何がお好きなのか」といふと「ヘュエッグスが好き」なのださうな。安達さんの土臭さが思はれる。 してるたであらうか。 は

野田戦事はそれでも戦つてある 情定するのか」 情定するのか」 をれとも、漁子の言葉が興賞であれた。 がきけないのだ。何故?あまり恋 外な言葉であるためであらうか。

一あの人は何が言へますものか。 一あの人は何が言へますものか。 親子ばその様子を明るやらに、 「水・・・!」

るが、一晩優れて按摩を ものだ。ところが、その按摩は ものだ。ところが、その按摩は だが、揉みながら且那の頭は大 だが、揉みながら且那の頭は大 だが、揉みながら且那の頭は大 さくて大量 看好のいゝ頭だとい きエライ人になれるかネノ国く もエライ人になれるかネノ国く もエラクなれば判るからいった。で やりとなりますよといつた。で もアとなりますよといった。で もアとなれば判るからいんだ。 かといふと、イエ名前は関かん かといると、イエ名前は関かんだったが、

大師りの多い腕下で、安室内相 たるものであつたが、や、形背の二人が前き合った形も宝木 たるものであつたが、や、形背の たるものであったが、や、形背の たるものであったが、や、形背の たるものであったが、や、形背の たるものであったが、や、形背の たるものであったが、や、形背の たるものであったが、や、形背の たるものであったが、や、形背の たるものであったが、や、形背の で、ステッキに不自由な一足を支へ、 で、ステッキに不自由な一足を支へ、 で、ステッキに不自由な一足を支へ、 で、ステッキに不自由な一足を支へ、 で、しかも いてるる安達さんの姿は、まるで んいてるるの姿は、まるで んが かない見を綴してゐる母親の姿だ が、 しかも たいであると、秋井君は たいてるるの姿は、まるで んが いてるる安達さんの姿は、まるで んが いてるると、なったなってのん。

小泉の又さんも野人であるが、か泉の又さんも野人であるが、一泉の又さんも野人である。常人出身の強味もまたそこにの強さんの风格がある。常人出身の強味もまたそこにあるのだ。

完醫井幡 (其中 集中 电 即 港 信 市) 建 大 基 九 五 八 四 話 电

。その間に鰹田戲等はとう たであららか。彼は興奮なたであららか。彼は興奮な です。あゝ何といふ恐ろしい事で 大づ、戮してごはっと決心したの 人が、戮してごはっと決心したの 「ある人? 渡子さん、 そのあ

「離かにしろ!」 見れば・紫色の頭に、きつと、 見れば・紫色の頭に、きつと、 ・ルを握つてゐるではないか。 あゝ、彼ょ窓に自当したのた。 その時であるい

をとって、もとの蛭田紫影になりへ飛込むと、直ぐかつらをつけいの中で捨てて来たのです。この人は陰道の中で捨て とを見続べる。蛭田樹帯はそれで、大々はざわくくとどよめき乍ら て邪魔になる人を片り端から殺の遺産を覘つてゐたのです。そ 「一覧そんなものを何間で見つ るまだ口をきからとはしない。



(四)

離工業界の

貢獻者

【五】

故向井君に開する追憶の敷々

伊滕幾久造 正则是少 (174

萬人當選大縣賞奏 デル探 五 本個別がみない。 錢 優多 三金錢

大日本雄

▲職子『母續篇』 職場

下一品、切に一瀬をするむ」 辿る環境・ でいこと天 動る環境・ でいこと天 つて(諸名)大芸芸 菊池 寬

人僕に家内の此點が一気にす 洋服下着類 服下着類一切の誌婦の知らねばならぬ胎兒衛生

で經濟胴無し襦袢作り方の前後と愛兒の育て方 小倉清太郎 石谷兵九郎 百話 道



◎見合から里歸りま 騎りまで新郎新婦 いい がと帶の着こなし方機 なれの工夫(関学) 一代身墻みの好資料!

手入法諸名家體験談 名流婦人の打明け話 面白く爲になる名士 香味百倍 保健卓勃 ラチンを仲和す

體 驗 タバコの味つけ

水谷栗島扮裝くらべ

和裝美洋裝美大書報

呪ひは感謝に……悪しみは喜びに……失望は希望に……を 性か一ヶ月半ばかりの間に、私の人生觀は全く一**便して** 橋は立派に骷腐を征服しました。 第「カワウソの肝薬」で私は肺病を作品しました。 福岡縣太宏所町永光間次即氏の秘報される世界的な有名 それは「カワウソの肝薬」でありました。 は「カワウソの肝薬」でありました。 はいので致はれたか? 何が私をそうさせたか?

マシ

一つ線行よりよく効いで安くつつ線行よりよく効いで安くつの無常で速でる。

五年十一月下旬新聞紙上に

ニイマツの燻焼器で ●答案の出し方 効力があります

題

門 一 ヤマツに限ります

· 初秋 明太男女美髮

美味と保健と經濟を報れた新研究發表

松業製小楊子

よつて腎臓は勿論

日

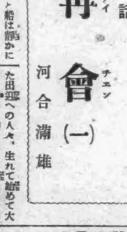
满

(五)

一きます。白い筋の入った太い爆突 に高かせながら大道・関連に近づ に高かせながら大道・関連に近づ

他外で航疫が終ると船は静かに

れらのすべてが珍しいものばかりを見た太郎さんや叔母さんにはそを見た太郎さんや叔母さんにはそ 滿 雄



童

から吐き出される黒い鷹は動かな 関ったりしてある出巡へ人の頭の 上に鯉くを辿ったりたソカチを たに鯉く幅きました。

一 しら」太郎さんと叔母アさんは戦 たが似父さんらしい奏はどとにも たが似父さんらしい奏はどとにも 見つかりません。 製だしい乗客は電調のやうに船 そのうちに船は岸に復づけにさ

したのかしらり

れましたが、叔父さんの委はどこれましたが、叔父さんの委はとと、 まれくて符合所の方に押し出さ まれくて符合所の方に押し出さ 大郎さんと叔母さんはたなまご やがて待合所には人かげも少く

那へに来てくれなかつたのですねなりました。 報がつかなかつたのかしら はが陰であります、斯くして出来 合に安殿と聴覧に一致せしめる東 で切ります、この際音段がストラ

近藤 重 0 F L z

◇錦玉羹

家庭で出來

3

和洋菓子の

製法

3

洋 行

料材象天三本

香料随意

り一夜水につけて置き

使用前お鍋に取りだし木六、七合麽天をやはり一夜水につけて置き 神子でたらして以てスークと別くできた、 大学でたらして以てスークと別くを うになっば結構です更に随意のを かっぱ結構です更に随意のを かっぱ おおい で味をつけ食料倫具で味をつけ食料倫具では からしていてスークと別くです。 の中に入れて火にかけ沸騰させき す更に砂糖を加へすつかり溶けま ります、前の水羊羹の場合も裏流してこれをは しとはきれいなふきんやうのもの しとはきれいなふきんやうのもの

モミ大 遺話内穴 ルニ番

新木丈太郎 電話四六九二番 駅へリキュー

特約販賣店領津町赤羽電舎の流番網はラジウム温条治療命 電話七六八五〇

展望の出來る ** たったこと以外に腹壁による快味がある、しかしエレベーター としたらどうだらう。それははも気が重に乗る場合は目的地なったことがないと思ふが…)乗ったやうに、陰気でそして謎配であるに相違ない、秘密はなったことがないと思ふが…)乗ったやうに、陰気でそして謎配であるに相違ない、秘密はなったと以外に脱壁すること以外に脱壁による快味がある、しかしエレベーターには異様すること以外にに到達すること以外にに到達すること以外にに到達すること以外にに対応すること以外にに対応すること以外にに対応すること以外にに対応すること以外にに対応すること以外にに対応すること以外にに対応すること以外にに対応すること以外にに対応すること以外にに対応すること以外にに対応すること以外にに対応すること以外にに対応すること以外にに対応すること以外にに対応すること以外にに対応すること以外にに対応すること以外に ーのケースを運搬物の外側に設け外部を全部硝子張りにして昇つたり降りたりする時に外のでは此の寫眞のぞうに展謝のきく硝子張りのエレベーターが流行り出した、即ちエレベルタや然快味を伴はない、それは荷物車のやうに展謝がよいからである、ところが最近アメリカ 脚めを窓にしやうといふのである、何んと名家ではありませんかっ 忘れられてゐる 水の醫療的効果

水は副作用のない最良薬 ない。何等の歌作用のない最上の下 熟賞となるのである交消化理的は 大なしには行はれない、即ち生水 を飲むことによって胃壁は刺媒さ れ、胃液分泌機能の なれ、胃液分泌機能の ない。

旅大道路突破

現在に於けるスポーツ及びゲームの単れ離き緊密は限られた人数の単れ離き緊密は限られた人数ならば膨力的貴族階級の膨出されて行くといふこと、見方を變へて云ふならば膨力的貴族階級の膨出されて行

(五)

克

最近着いた米園の航音雑誌にヴァーボールの新らしい練習法とであるといふことを力設して居る。その序記にこのが出るのと言は飽くまで聴音的一般が性態を帯びるものの非言と不思議な程一致して居る。 ので特に蹴白く酸んだ。 體育 0 出現の趨向 何にスポーツの張好者といへども で記単ない事態である。 である。

> 酒、月桂山の葉を入れて アを加へ、鵬胡椒味の素、番

をその目的の中に含んで居るとは 一大が一タは元素から云つて鑑賞 がアスレティックスの思想とスポーツ及 が完全に一致したがほめ、有らゆるスペータは鑑賞論とスポーツをもつてその るスペータは鑑賞論とスポーツ及 質の儘識者と云ふ思想に没交渉に だからスポークはその本來の性 どろりとなったなら清潔な布と

ちどを入れて無こみ、味が 見て皿に盛り、パセー ▼…様料――うど二本、味付トートソース一合、ペセリ少量トソース一合、ペセリ少量トソース一合、ペセリ少量トソース一合、ペセリ少量・ルメース一合、ペセリク量・ルメース一合、ペセリク量・ルギー・カイン・ パセリをふり 味利コス

◆ちどのトマト意

漫町会貯炭場前聴雨館電気デオー合百事吟撰氷滞在倫敷製

牛乳 バタークリーム 話七七七二番ん

やぐらず

第一環次作家上致します。 専門のヤナギヤへ 大連市演選デバート内

石井家畜病院

目前では長いく 会議を残して去。 自動車は長いく 会議を残ってる をので照らしながら進んだ。中々 大から來て、邊の翻訳を破った。 方から來て、邊の翻訳を破った。 れても分らない様な暗闇の楽ひに れても分らない様な暗闇の楽ひに 間がついてあないの質問だの何か、行く事に山の道は選に山に思い 財政に飛び込むの中は 場外 帯し、サラダ油を産少量入れ気を 勝山洋行

時間を脳める、時に正に午後十一時間を脳める、時に正に午後十一プンと跳い書を立てた思ひ出してプンと跳い書を立てた思ひ出して見るとドラといい。

馬鈴鑾パセリを盛り添へ、温かき、裏返して充分簿き皿に盛ねき。裏返して充分簿き皿に盛ね

とスポーツの一致

體育ボール時代

にて濃目の茶色に焦がし。トーとかし、小変粉を入れ臓火のよ

遊金 有外口観音御用立

電田田大丁

習字

イブライターの電話八四七一

名刺

マトソース七六、鴨がは少量、パタスープ起二杯、サラダ油少量、パセリ少量

河等一切は 常知古竇賞、交換修 プライター 印書印書應

貸衣袋

たじまや電六六〇一番たじまや電六六〇一番

写真
支非服の地

第一日本橋高雲館へ青衣撮影及現日本橋高雲館へ青衣撮影及現場の個用は迅速で銀

歐マツサージ院

(明女研究生)、11823年2 (明女研究生)、11823年2 (明女) (

沙尿生殖是病 病(排翻

の現状が終いそれである。 益々肉體的貴族主義の傾向を記述 ウベーカド

湯で、出さらで無味がわるい。 水三人の間はともすれば沈默に略 ・場い。除す記録もないらしい。 此處送火た時は優等について来 る者、又先に行く者も無かつた。

道は深い谷の上に来への何だか

さびしい

此印に限る

梁小寺藥局

で記六四四二







釣京東





の数のない。





發賣本舖 司

號八十二百七千八篇

近やたいれを生じ●食慾進まず胸先痞へ鳴つき嘈囃出で●下痢や軟便にて便に粘液膿汁を混じ●腹はり放 慢性胃腸病にて從來種々の藥を服用するも効なく外觀には左程大病らしく見えざるも胃腸内壁には恐ろしき 死多く出でゴロゴロミ鳴り 症には是非こもアイフを服用せられよ。アイフは内服と同時に其の主薬は腸胃内壁に於ける糜爛面に附着 するも関面下痢し痛み●重症にて痛み甚しく便に血液膿汁を混じ胃癌又は腸結核腸潰瘍等の疑ひある危險 里を増加し血色を良し祭養 炎症を鎮の粘膜を強出にし粘液の分泌を減じ腸の蠕動を制し下痢を止め痛みを鎮静す故に食慾を進め體 元氣衰へ顏色悪しく神經過敏となり●肺尖肋膜に故障を起し咳や熱出で●少しの飲酒や不消化物を食 10吸收を住良にし健康を著しく増進せしむるの効果を有す. ●胃酸過多症にて食前食後に胃部痛み滋養物を食するも身につかず身體衰弱し

離婚が増加した

死亡率は歐洲諸國に比べ高い

わが國の人口動態

おめでたが減り

職職機能はこの程能く全 は基づきるの程能と全

・七六で大體改殿時期を除さいづれも我園とは漸減傾向を示してある。

ため明春まで御廷琳遊ばされた ・皇后號下との御和叙成立せね ・大皇后號下との御和叙成立せね

▼野外映画の夕 二十一日午後七 意味を加へ斬新な映画を選び公 調味を加へ斬新な映画を選び公

同起殿下 御來朝

明年十月ご御決定

ることになってゐる

茂間山また

作物の被害甚大

職器にて

活躍を期待減田選手の

五郎、二等三郎、三等二郎、四郎とし各競技の決勝には双方ない。

力を参加せしめることにはつ

|を死者||受見 ||照井澤二十

方非常な降灰あり農作物の破害。

三茂跡の脚者として敗名を動かた主特線田選手の黄心的活躍がた。は個人競技にあっては一

附近の

六日月二十二日)

一滿電調型

た小器口に銀道の制服傾帽の二十ところでは火口より五間程順れしいものでは火口より五間程順れ

全国的 に願いテームです

石城高商チーム 廿日夜大連入り 各地に轉戦總なめして

置難者六名

総総に努力しつ」ある指標、十九の経験に対しているのでは関に立ち、交通事故のという。

無免許巡査

の死動競見された、なほ協死者もて調査中である

倆鐵が電園で

別 清篠地方等地方際では一観市民歌 ▲鈴虫、松虫鳴へ と受けることだらうと判符されて タッナッランド 催しかとして市民から非常な観点 日より二十六日 はしい調べを入 タッナッランド 場出類を取り物 にれば特に龍子 を受けることだらうと判符されて うといふが落韻 巾民慰安の催 映畵公開、虫鳴合せ等々 日孔雀のお目見得で大人氣

図を防弾の

お陰でお狐さんは大喜びの電影響には個々研究中であつたが中国歌風のやうた防災、防ので歌劇響には個々研究中であつたが中国歌風のやうた防災、防ので歌劇響には個々研究中であつたが中国歌風のやうた防災、防災で動の耐ナョッキが戦務時前出企警係長によって考察された、防災戦からつて総式に租台せその上を摩縄で包み外部をコール天布で敬ひ目方二貫目、用着とも矢でも縄硐でも持つて来いといふ代で敬ひ目方二貫目、用着とも矢でも縄硐でも持つて来いといふ代で敬ひ目方二貫目、用着とも矢でも縄硐でも持つて来いといふ代で敬いという。 で、これで配官の極性者が少なくなるとお巡さん趣は大喜び (高

「東京二十日發電通」我皇歌に眺重を表せらる」ため近く御來朝 を解べられたベルギー皇太子レオポール版下、同妃アストレッド を解べられたベルギー阜太子レオポール版下、同妃アストレッド を解べられたベルギー阜太子レオポール版下、同妃アストレッド を解べられたベルギー阜太子レオポール版下、同妃アストレッド を解る式に宮内省に通知があつた、宮内省は先年御來朝のスユーデ を解る式に宮内省に通知があつた、宮内省は先年御來朝のスユーデ と意太子版下御同様の御製紙を申し上ぐる津定で明春から換代に

護身用チョッキ 警視廳がヤッこ完成 【東京物蔵三十一日は 一時不計 は今回満別方面へ総数を鑑長す (東京物蔵でのからでは費用性れて観察 であるが、これが常知すれば現在 (東京物蔵での、また実証の であるが、これが常知すれば現在 (東京物域を変更の であるが、これが常知すれば現在 (東京が建築の であるが、これが常知すれば現在 (東京が建築の であるが、これが常知すれば現在 (東京が建築の であるが、これが常知すれば現在 (東京が建築の であるが、これが常知すれば現在 (東京が建築の であるが、これが常知すれば現在 (東京が建築の であるが、これが常知することを表示すると、 (東京が建築の であるが、これが第二十五 (東京が建築の であるが、これが第二十五 (東京が建築の であるが、これが第三十五 (東京が建築の であるが、これが第三十五 (東京が現在) (東京が、これが、) (東京が、) (東京

不況に喘ぐ

東京映畵界

墜落す 陸軍機

操縦の は奇蹟的に着陸 質根少佐瀕死の重傷

た、なは曾根少佐は宮崎縣出身に 欧亞連絡機

郡に回う突に探り操うるの際に 日設置週週期の新田の職件日常を開発を持ちます。

題人ナーー

酸物なかつた スポンヂ野球

した、わか應接際には何ちの脱は増えつきたのか何れかに

を同様するが今回の演繹および講像において銀十三四土暗勝座 小壁校において銀十三四土暗勝座

(説明書連日

びに第五、六日目の組合せ左の奴 スポンデ野球第四日目試合成績

中央試験所十一十十二時

一、船組と船舶と ・ 船組と船舶を ・ 船組と船舶を ・ の通りでする。

が出演して公に適はしい
が出演して公に適はしい
が出演して公に適はしい
が出演して公に適はしい
が出演して公に適はしい
が出演して公に適はしい
が出演して公に適はしい
が出演して公に適はしい
が出演して
いる。
はやぶ

WATER PROOF FIBRE COAT MAJOURD ASSESSED CHAIN MAJOURD ASSESSED COMMENT MAJOURD ASSESSED COMMENT MAJOURD ASSESSED COMMENT MAJOURN ASSESSED COMMENT MAJOURD ASSESSED COMMENT

奉天迄延長

技・戦を戦り撃骸骸三丁目歳大道略分 の電柱に衝突、電柱を根立る の電柱に衝突、電柱を根立る の電柱に衝突、電柱を根立る では、1年の一位のでは、一位のである。 では、1年の一位のでは、1年の一位のである。 では、1年の一位のでは、1年の 九月四日大通入継八日まで院治十 打機職を静させたが給木は無免許 の配面に全治まで一ヶ月を要するりブナ折つて自動車を大酸し成例

迎大 Ţ 各 紙

滿洲發賣元

谷

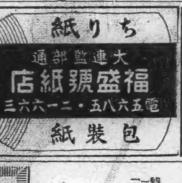
WEST HOUSE

大連市插腳町一一九



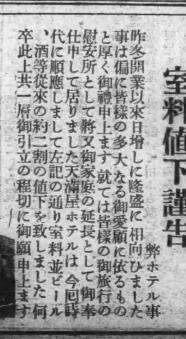
特讀甘露味噌二名班芽米

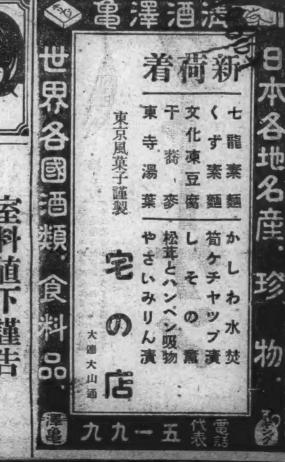
一瓶三十錢











劍道部招待會 安部磯雄氏こ ミカニ圏

豊原全市浸水

「歴原二十一日要電道」権太会鳥の地水はビレく河流し髪原全町のかり地水はビレく河流し髪原全町の象形表水し町民は後眠して遊戯して遊戯し、智・と信し線道で通となった、彼等。 東大阪友會大迎支部の安部機能氏 地校側道部の揺揺會は『日午後大 たが最高者襲す石組る略画であっ たが最高者襲す石組る略画であっ

上海のコレ 大した事はない ラ

日本青年の歌

令旨奉答歌募集 を見ずにすむであらうと云はれて である、なほ牛莊においては印度方 のる。なほ牛莊においては印度方 の大勝靜般に謎しては嫩便 管なくこの分では例本の如き組織の の定役は前期間の総計、税と大 を取る一週間における土海各方 はの定役は前期間の総計、税と大

牛莊でコレラ檢疫

報によれば南洋セブ港を

故村岡中將追悼曹

てアイリタピン島より入様する地でアイリタピン島より入様する地での監察は牛班松袋規則によりは

電柱と鉢合せ町三番地

室料 値下謹告

乾新兵衛氏ら 起訴に 頭野檢 決定か 小山總長と懇談

訴後は强制拘束 の月屋いものを舞ぐれば映画館の月屋いものを舞ぐれば映画ではか四谷の朝日館、銀座襲場なぞの映画館の大型はの千国館、銀座襲場なぞの映画館の大型はか四谷の朝日館、大磯の梅ケ香の映画館なぞ東近だけで 本景気の故に押されて大小映画館 本景気の故に押されて大小映画館 に着るので記念として青年の意気 に着るので記念として青年の意気 に着るので記念として青年の意気

日戦会は入選一編二百四となつて、戦争を募集するがメ切は九月十五、戦争を募集するがメ切は九月十五、大戦の大戦の方面を高間した日本資年の歌及び宗旨 現現に

のでは、 のでする。 のです。 のです。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のでする。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 解打撃ともに油の乗り切つてる事故テーム中の最優秀なもので 新聞に は は は 減 し 質 繁 野 球 関 に 校テーム中の最優秀なもので



対ちれあべこべに百五十萬圓の信 職経出撤回を求められ撤回すれば 取ること

爾刺語煥發

をしめてゐる有様である

四十年記念

支那保衞團 匪賊と衝突

天満屋ホテル 200

99

いっと 思る所、今の離め口の方が、もう過去のことは過去のこと

解脱鞭ぶりを示した。

た思つてみた、世

でとっる。中国ありません、あの 時は全く貴方に合せる離が無かつ。

授料金五圓也

の大連汽

東路四七二・川四二

前とは、まるで幾つた銀みを持 った智楽選びに、後は一層中職な

を売づくけたんだから……と、僕は後になつて とつたんだがね。何にしろ、君が はのたんだがね。何にしろ、君が

に燃たのが君の災難さ……それに しても、君にあの時あがな網鎖が 出さへしなければ、また、共鷹は 低酸大人の限徴しゃら、みどり女

B

愛棋家の福音

3

動 ちには、また、方々に手懸りが出 来て来るだらう。如何に劈機は敞 来て来るだらう。如何に劈機は敞 来て来るだらう。如何に劈機は敞 来て来るだらう。如何に劈機は敞 来て来るだらう。如何に劈機は敞 来で来るだらう。如何に劈機は敞 来で来るだらう。如何に劈機は敞 来で来るだらう。如何に劈機は敞 来で を かんだして、その 物ら、 歌兜 ない また こうこう

そして「ちゃ、また」と云つ

支鵬に一通の手紙が投げ込まれたカタリと音を立てるものがあつた

魔を出されたんだっても

うな説様を彼に激つた。

山のやうに膨して、膨い際症臓のと、二十酸もありさらな状態を 云つて、有田は敷局に火を

で、「「一般の悪くなつて來るのを獨り 「おえ、

と、二十酸もありさらな水腫を 「ねえ、君が何も悪いんぢゃない はのぞうに厳して、薄い座布臓の あの時の事件は、そく君には罪は はのぞうに厳して、薄い座布臓の あの時の事件は、そく君には罪は ないんだったと、 ア地」で解って ないんだったと、 ア地」で解って ないんだったと、 されを後から訳った程度は続いであた。

▲月河無順(八月頭) (定個州領東 (編) (定個州 (東) 東京 (大月頭) (定個州 (東) 東京 (東) 大月頭) (定個州 (東) 東京 (東) 大月頭) (定個州 (東) 東京 (東) 大月頭) (定個州 (東) 東京 (東) 大月頭) (定個州 (東) 大月面) (定個州 (

店

●專屬發展所 大連市山縣 週

| 本に連載中であるが大衆 | 成二郎氏作「新版護士錦木傅」

目で一よくさ れた!スモカ は三日日で威 N される! 70 は九年

が、人間を支配してゐるやうにな 川日本

(A)

1)

木

駐 行弾

命の節は電話

旅順驛前

日の出案内所

最新の味

日本經濟被大連出張所 大頭市山縣通電監(七人巴六番 大頭市宣都與晉集編 大連市宣都與晉集編

大阪商船縣試大連支店

る崇代七で度・ 防火用。

岡 商

103

告

新天堂:市風呂崎 新天堂:市風呂崎

旅疾に

廣告 し者しの馬の 佐たなる。 る数とた・こ。 る表學を・で するばかり りでなく 話 三六九五番

頭腦。 愛用者即 N . 。愛用者

E

にあり



店支達大店的外

溢るる 漲る力 前野市 城田英一郎氏

胃腸を害るの 方複 の球球

金線サイダー製造元